

## 第4章 学部教育(保健福祉学部)

## 第4章 学部教育(保健福祉学部)

### 本学部の教育方針(ディプロマ・ポリシーより)

保健福祉学部は、地域の人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる保健、医療、福祉に関する基本的知識と技術を修得し、健康課題に対して科学的な思考や分析に基づいた課題解決能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材を養成することを目指しています。

したがって、本学部では次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

- 看護、栄養、福祉のそれぞれの分野における十分な専門的知識と技術を身に付けている
- 科学的、論理的思考に基づいた課題探究と解決に必要な多様な基礎知識とそれらを活用する能力を身に付けている
- 豊かな感性、倫理観を有し、人を支援する心を身に付けている
- 外国語を含めたコミュニケーション能力を身に付けている
- 将来にわたって応用知識・技術を積み上げていける力を身に付けている

### 教育課程(カリキュラム)の概要(カリキュラム・ポリシーより)

- 1 幅広い教養、豊かな感性、論理的な思考能力、コミュニケーション能力、グローバルな視点並びに専門教育を学ぶために必要な基礎知識を身に付けるための共通教育科目を、すべての学科で初年次から履修します。
- 2 専門教育においては、現場で活用できる実践力を養成するために、基礎から専門にかけて講義科目を体系的に配置するとともに、豊富な演習・実験・実習科目を設置しています。
- 3 同時に、幅広い専門性を身に付けることができるように、選択履修できる他学科の科目を用意しています。また、看護・栄養・福祉の3分野からなるチーム医療における各専門職の重要性を学ぶ選択科目を設置しています。
- 4 課題発見・解決能力を育成するための卒業研究を、いずれの学科においても1年以上履修します。

## 1 看護学科

### 1.1 本学科の教育方針(ディプロマ・ポリシーより)

看護学科は、人々が健康で豊かなその人らしい人生が実現できるように、看護の専門知識と技術を活かして、地域におけるあらゆる健康レベルの人々(家族・集団・地域)の生涯を通じた健康を支援し地域社会に貢献できる看護専門職の育成を目指しています。

したがって、本学科では次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

- 看護の専門知識・技術を用いて、人々の生涯にわたる多様な健康レベルの人々の健康課題を科学的・論理的に判断し、解決方策を提案できる能力を身に付けている
- 豊かな教養と人間理解を基盤にしたヒューマンケアリングが実践できる能力を身に付けている
- 保健医療福祉チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働できる能力を身に付けている
- 看護専門職としてのアイデンティティを形成し、専門職業人の持つべき知識・価値観・倫理観を自ら継続・発展させていく能力を身に付けている
- グローバルな視点を持ち、将来は看護の実践・教育・研究領域におけるリーダーやスペシャリストとして社会に貢献できる能力を身に付けている

### 1.2 教育課程(カリキュラム)の概要(カリキュラム・ポリシーより)

- 1・2年次の共通教育科目の履修を通して、人間や社会を理解するための素地となる豊かな教養と倫理観を身に付け、専門基礎へ導入を図るための基盤を育成します。それに加えて、科学的思考の基盤となるクリティカルシンキングやグローバル化に対応した看護活動ができる基礎的な知識と技術を育成します。
- 3年次はライフステージ(母性・小児・成人・老年)別の特性を踏まえた看護や精神保健看護、在宅看護、看護政策、マネジメントについて履修し、主要な健康課題と健康増進のための理論を修得します。その上で、健康問題を持つ個人・集団・地域を対象に看護診断をし、解決に必要な知識と技術を育成します。
- 3年次後期から4年次前期に、各領域別の臨地実習を行います。この実習を通して人間の尊厳や多様性を学び、科学的根拠に基づくアセスメント及びヒューマンケアリングが実践できる基盤を育成します。
- 4年次には統合実習並びに卒業研究を行います。これまでに学んだ専門的知識や実践力を広い視点で統合し、研究的な方法を用いて健康課題を特定し解決策を論理的に説明できる能力を育成し、保健医療分野でのリーダーとして必要な基盤を育成します。
- 本学科は、看護師国家試験受験資格を満たす科目を卒業要件とし、一部の者には助産師国家試験受験資格に必要な科目が選択できるように配置しています。

### 1.3 教育課程の編成

教育方針を達成するために下表に示すような教育課程を編成している。

	カテゴリー	概 要
専門基礎分野	人体のしくみと病態	医学領域の科目群及び微生物学・生化学等の科目により人体のしくみ、主要疾患の病態生理、症状、診断、治療、予後について学ぶ。
	人間と生活	看護の対象である人間及び家族、生活環境等について看護の視点で学ぶ。またヒューマンケアリングの実践のための基本概念と方法論を修得する。
	健康支援と社会制度	健康の保持増進、疾病予防について公衆衛生や健康教育の視点から理論や方法論を学ぶ。またそれらに関連する法制度・行財政、社会福祉サービスについても学ぶ。
専門分野	基礎看護学	看護は実践の科学であり、あらゆる年代、様々な健康段階の個人、家族、集団や地域社会を生活者の視点を重視して支援する専門職である。基礎看護学ではあらゆる看護に共通となる基礎理論と方法論を修得する。
	成人看護学	成人期にある人々とその健康現象に焦点を当て、成人各期の発達段階の特性からくる保健課題と健康問題解決の理論・方法論を修得する。特に急性期では、急性期・周手術期における看護の知識と方法を学び、臨地実習で実践能力を培う。慢性期看護では、慢性疾患を自ら管理(セルフケア)していく上での健康学習支援の基礎的実践能力を培い、臨地実習で実践展開する。
	精神看護学	人間の精神の発達・成熟の仕組みに焦点を当て、発達のプロセスにおける危機と対処の理論・方法を修得すると共に、精神発達上の問題解決の理論・方法論を修得する。また、臨地実習では精神の病気や障害をもつ人との関わりを通して、精神看護の臨床における基礎的実践能力を修得する。
	老年看護学	人間にとっての「老い」の意味を考え、老年期の発達課題、老化過程の理論を修得すると共に、老年期における健康問題の特質、医療・保健・福祉対策の動向とその実際を学ぶ。また、臨地実習を通して、施設や在宅での高齢者看護・介護の実際を学ぶ。
	小児看護学	小児期の対象を成長・発達の様相から理解し、小児の健康を守り、健全育成に必要な知識・技術を修得すると共に、健康に障害を持った小児とその家族について問題解決の理論と方法を学ぶ。また臨地実習においては健康な子どもと、健康障害を持つ子どもとその家族との関わりを通して基礎的な実践能力を修得する。
	母性看護学	女性の一生をリプロダクティブヘルス/ライツの視点から捉え、様々な課題に対する母性看護の基礎的能力を養うと共に、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における母性看護の理論と方法を学ぶ。臨地実習では、周産期を中心に基礎的な看護実践能力を修得する。
	統合と実践	変化する社会や環境・国際化に対応した看護活動ができるための基礎的知識と方法論を学ぶと共に、地域で生活している様々な人々の健康や QOL 向上に寄与する看護活動を展開するための固有の理論・方法論を学ぶ。また、各領域で修得した専門知識や技術を統合し、チーム医療が行われている臨床現場で、専門職として看護をマネジメントするための基礎的実践力を修得する。卒業研究では、各自が選択した看護のテーマについて、研究計画を立て、データ収集、解析、解釈・考察を通して卒業論文としてまとめる。統合実習では、看護政策・マネジメントに繋がるテーマを設定し、それを達成するための方法を検討、実践し、看護の視野を拡大する。
助産学	助産師に必要な助産診断、助産技術の基本概念と意義を理解し、妊婦・産婦・褥婦と新生児に対する健康診査の方法とケア、ならびに正常な分娩介助技術と助産管理の基本概念を修得する。臨地実習では、継続受け持ち事例や正常分娩介助を通して助産診断・技術・助産管理能力を養う。	

## 1.4 卒業要件と履修方法

### (1) 卒業要件

卒業資格を得るためには共通教育科目と学部教育科目のカリキュラム表にしたがって、下表に示す卒業要件単位数を修得しなければならない。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	20 単位	5 単位	25 単位
学部教育科目	100 単位	5 単位	105 単位
計	120 単位	10 単位	130 単位

### (2) 臨地実習の履修要件

3、4年次に開講する臨地実習は、「看護学基礎論Ⅰ～Ⅱ」、「看護学方法論Ⅰ～Ⅵ」、「基礎看護学実習Ⅰ～Ⅱ」を履修し、単位を修得しておかなければ履修できない。なお、授業科目毎の要件がシラバスの「履修上の注意」に詳細に書いてあるので留意すること。

### (3) 卒業研究の履修要件

3年次後期から必修科目として「卒業研究」を課している。卒業研究は、次の条件を充足しなければ、履修できない。なお、3年次前期に学科が行う卒業研究に関する履修指導に留意すること。

卒業研究の履修要件	
共通教育科目	必修科目 20 単位修得
学部教育科目	3年前期までに修得すべき必修科目のうち 72 単位以上修得
計	92 単位以上

### (4) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

卒業要件単位として認定しない。

## 1.5 資格の取得

(1) 看護師国家試験受験資格は、卒業時に取得できる。

(2) 助産師国家試験受験資格は、卒業要件に加えて、次の選択科目の単位を全て修得することにより卒業時に取得できる。(女子のみ)

- ①ジェンダー ②生命倫理 ③生殖の科学 ④助産診断・技術学Ⅰ ⑤助産診断・技術学Ⅱ  
⑥助産診断・技術学Ⅲ ⑦女性のライフサイクルと助産 ⑧助産管理 ⑨助産学実習Ⅰ  
⑩助産学実習Ⅱ

なお、助産師国家試験受験資格取得に必要な「助産学実習Ⅰ～Ⅱ」の履修可能定員は 4 名程度であり、2年次に希望者の中から選考により決定する。この選考により履修を認められた者を助産師課程履修者と呼ぶ。

1.6 授業科目

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数	
				1	2	3	4				
専門基礎分野	人体のしくみと病態	生化学	講義	川上(祐)	◎				30	2	
		微生物学	演習	田中	◎				30	1	
		解剖生理学Ⅰ	演習	荻野	◎				45	2	
		解剖生理学Ⅱ	講義	荻野	◎				30	2	
		運動生理学	講義	綾部	○				30	2	
		病理学	講義	荻野		◎			30	2	
		薬理学	講義	高橋(吉)		◎			30	2	
		生殖の科学	講義	※羽原		△			15	1	
		臨床病態学Ⅰ	講義	高橋(徹)		◎			30	2	
		臨床病態学Ⅱ	演習	高橋(徹)		◎			30	1	
		臨床病態学Ⅲ	演習	高橋(徹)・※富岡		◎			30	1	
		臨床病態学Ⅳ	演習	高橋(徹)・※脇			◎		30	1	
		救急医学	講義	高橋(徹)・犬飼			◎		15	1	
	人間と生活	栄養学総論	講義	山下(広)	○				30	2	
		人間発達学	講義	沖本		○			30	2	
		家族看護学	講義	井上(幸)		◎			15	1	
		ヒューマンケアリング論	演習	二宮・實金			◎		30	1	
	健康支援と社会制度	医学概論	講義	高橋(徹)	◎				15	1	
		看護の世界	講義	山口(三)	◎				15	1	
		リハビリテーション概論	講義	※西本		○			30	2	
		健康教育論	講義	住吉		◎			15	1	
		公衆衛生学	講義	※川井 他		◎			30	2	
		疫学	講義	藤井		◎			30	2	
		保健統計学	演習	未定		◎			30	1	
		社会福祉概論	講義	坂野	○				30	2	
		看護関係法規	講義	沖本		◎			15	1	
		社会保障論	講義	増田		◎			15	1	
	専門分野	基礎看護学	看護学概論	講義	山口(三)	◎			15	1	
			看護学基礎論Ⅰ	講義	山口(三)	◎			15	1	
			看護学基礎論Ⅱ	演習	山口(三)		◎			30	1
			看護学方法論Ⅰ	演習	佐藤(美)・高林	◎				30	1
			看護学方法論Ⅱ	演習	佐藤(美)・高林	◎				45	2
			看護学方法論Ⅲ	演習	佐藤(美)・高林	◎				45	2
			看護学方法論Ⅳ	演習	佐々木(新)・高林	◎				30	1
			看護学方法論Ⅴ	演習	佐々木(新)・高林		◎			30	1
			看護学方法論Ⅵ	演習	佐々木(新)・高林		◎			45	2
基礎看護学実習Ⅰ			実習	佐藤(美)他	◎				45	1	
基礎看護学実習Ⅱ			実習	佐々木(新)他		◎			90	2	
成人看護学			成人看護学Ⅰ	講義	住吉・名越		◎			30	2
		成人看護学Ⅱ	演習	名越・犬飼(智)			◎		45	2	
		成人看護学Ⅲ	演習	住吉・浅井			◎		30	1	
		成人看護学Ⅳ	講義	住吉・浅井			◎		15	1	
		成人看護学実習Ⅰ	実習	名越・犬飼(智)			◎	◎	135	3	
		成人看護学実習Ⅱ	実習	住吉・浅井			◎	◎	135	3	
		精神看護学	精神看護学Ⅰ	講義	井上(幸)		◎			30	2
精神看護学Ⅱ			演習	井上(幸)・石田			◎		45	2	
精神看護学実習			実習	井上(幸)・石田			◎	◎	90	2	
老年看護学		老年看護学Ⅰ	講義	實金		◎			30	2	
		老年看護学Ⅱ	演習	實金・井上(か)		◎			45	2	
		老年看護学実習	実習	實金・井上(か)			◎	◎	135	3	

105 単 位

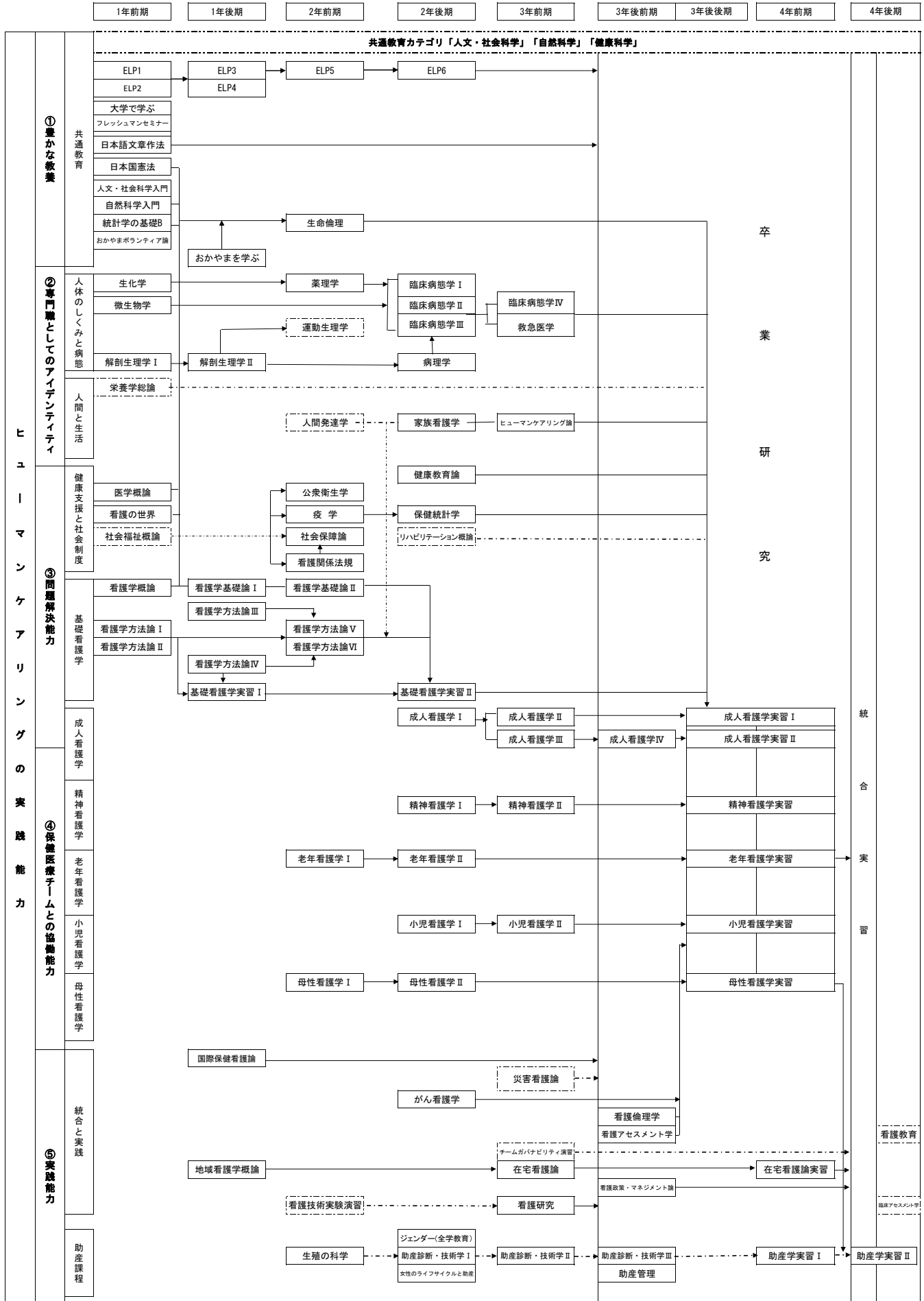
授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
				1	2	3	4				
専 門 分 野	看護学 小児	小児看護学Ⅰ	講義	沖本・網野		◎			30	2	105 単 位
		小児看護学Ⅱ	演習	沖本・網野			◎		45	2	
		小児看護学実習	実習	沖本・網野			◎	◎	135	3	
	看護学 母性	母性看護学Ⅰ	講義	池田(理)		◎			30	2	
		母性看護学Ⅱ	演習	池田(理)・滝川		◎			45	2	
		母性看護学実習	実習	池田(理)・滝川			◎	◎	90	2	
	統合と実践	地域看護学概論	講義	二宮	◎				30	2	
		在宅看護論	演習	佐々木(純)・未定			◎		45	2	
		国際保健看護論	講義	井上(幸)	◎				15	1	
		看護技術実験演習	演習	佐々木(新)		○			30	1	
		チームガバナビリティ演習	演習	中村(光)・住吉・高林			○		30	1	
		災害看護論	講義	二宮・高橋(徹)			○		15	1	
		がん看護学	講義	名越		◎			15	1	
		看護倫理学	講義	山口(三)			◎		15	1	
		看護アセスメント学	演習	名越 他			◎		30	1	
		看護政策・マネジメント論	演習	二宮 他			◎		30	1	
		看護研究	演習	山口(三)			◎		30	1	
		臨床アセスメント学	講義	高橋(徹)				○	15	1	
		看護教育	講義	佐藤(美)・二宮				○	30	2	
		卒業研究	演習	学科教員			◎	◎	120	4	
		在宅看護論実習	実習	佐々木(純)・未定				◎	90	2	
	統合実習	実習	二宮 他				◎	90	2		
	助産学	助産診断・技術学Ⅰ	講義	岡崎(愉) 他		△			30	2	
		助産診断・技術学Ⅱ	演習	岡崎(愉)・滝川			△		45	2	
		助産診断・技術学Ⅲ	講義	池田(理)・岡崎(愉)			△		15	1	
		女性のライフサイクルと助産	講義	岡崎(愉)		△			15	1	
		助産管理	講義	岡崎(愉)			△		15	1	
助産学実習Ⅰ		実習	岡崎(愉)・滝川				△	90	2		
助産学実習Ⅱ		実習	岡崎(愉)・池田(理)・滝川				△	225	5		

注 ・「◎」印は必修科目 「○」印は選択科目 「△」印は助産必修科目  
 ・「※」印は非常勤講師

学部教育科目の卒業要件単位数105単位

卒業要件単位数130単位(共通教育科目の卒業要件25単位を含む)

# 1. 7 教育課程の編成と授業科目の関係



注) 実線で囲んだ科目は必修、点線で囲んだ科目は選択を表しています。



## 2 栄養学科

### 2. 1 本学科の教育方針（ディプロマ・ポリシーより）

栄養学科では、超高齢社会の到来や生活習慣病予防が重要視されている現代社会において、食と健康の相互関係を科学理論によって理解し、未知なる事象の解明に向けて研究する姿勢を身に付け、栄養学を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用し、広く地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

したがって、本学科では次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

- 食と健康の専門家として必要な基礎的知識と技術を身に付けている
- 多様な対象者に対して、科学的思考に基づいて適切かつ高度な食・栄養支援を実践する技術を身に付けている
- 専門分野における問題発見・解決能力を身に付けている
- グローバルな視野を持って地域に情報発信できる能力を身に付けている
- チーム医療の重要性を理解し、他職種や患者とのコミュニケーションを円滑に進める能力を身に付けている

### 2. 2 教育課程（カリキュラム）の概要（カリキュラム・ポリシーより）

- 1 1年次から2年次までに共通教育科目を履修します。その履修を通して広範な知識の修得と異文化理解によるグローバルな視点や自然科学での科学的視点を含めた豊かな教養と高い倫理観の涵養、食と健康の専門家として活躍できるための学修基盤を育成します。
- 2 1年次から2年次までに学部教育（専門基礎分野）科目を履修します。この履修を通じて、食と健康の専門家としての健康・健康管理、医学領域、食品・加工・衛生・調理における知識や技術の基本的能力を育成します。
- 3 3年次には学部教育（専門分野）科目を履修します。この履修を通じて、専門職業人として必要な高度な専門的知識を修得し、総合的能力、コミュニケーション能力、サービスマネジメント能力、栄養指導能力、教育能力を備え、他の医療専門職と協働して、リーダーシップを発揮できる力を育成します。

- 4 4年次には卒業研究を履修します。この履修を通じて、研究課題に対して主体的に取り組む、科学的に探求する態度、論理的に思考する態度、計画的に実行する態度を身に付け、問題解決能力、実践能力を育成します。
- 5 教職教育科目を履修することで、教育の意義や食教育実践に必要な知識と技術を育成します。
- 6 共通教育科目及び学部教育科目の中から履修し、卒業時には栄養士免許並びに管理栄養士国家試験受験資格が取得可能となるほか、食品衛生管理者並びに食品衛生監視員の任用資格の取得が可能となります。また、教職教育科目を修得することで栄養教諭一種免許状が取得可能となります。

## 教育課程の編成

	カテゴリー	概要	開設授業科目
1) 基本的能力	<b>共通教育</b> 修学基礎	社会人基礎力涵養と栄養学科教員によるセミナーでキャリア育成に必要な心構えや基礎的表現力を修得する。	共通教育科目のフレッシュマンセミナー、大学で学ぶ
	人文・社会科学 自然科学 健康科学	歴史観・文化観・社会観を扱う学問領域、自然科学の基礎教養、身体を健康を考えた現代生活を営むための知見について学ぶ。化学、生物などの講義を通じて、学部教育科目を理解するための基礎的な知識や、コンピュータを活用する能力を修得する。	共通教育科目の人文・社会科学入門、自然科学入門、基礎有機化学、基礎生物学、統計学の基礎B、コンピュータ演習Ⅰ、生命倫理
	語学国際 社会連携	英語を始めとする外国語によるコミュニケーション能力、グローバル化に対応する能力および地域に貢献する人材として携えるべき能力を修得する。	共通教育科目の英語科目、英語以外の外国語科目、国際科目、おかやまボランティア論、おかやまを学ぶ
	<b>学部教育（専門基礎分野）</b> 社会・環境と健康	健康、健康管理に関する基礎的な知識、方法を修得する。	健康管理論、看護の世界、社会福祉概論、食生活論、健康情報演習、公衆衛生学、保健福祉システム概論、介護学演習
	人体の構造と機能・疾病の成り立ち	医学領域の科目群・微生物学・生化学等の講義、実験を通じて、基礎的な知識と方法を身につける。	栄養学のための解剖生理学、解剖生理学実験Ⅰ・Ⅱ、病理学、内科学、栄養サポートチーム論、薬理学、微生物学、微生物学実験、生化学、代謝生化学、分子生物学、生化学実験Ⅰ・Ⅱ
食べ物と健康	食品学・食品加工学・食品衛生学・調理学等の講義、実験、実習を通じて、食の知識と技術を身につける。	食品衛生学、食品衛生学実験、食品分析学、食品学Ⅰ・Ⅱ、食品材料学、食品加工演習、食品学実験Ⅰ・Ⅱ、調理学、調理学実習Ⅰ・Ⅱ	
2) 総合的能力	<b>学部教育（専門分野）</b> 基礎栄養学	栄養学総論・栄養学実験を通じて栄養学の基礎を修得する。	栄養学総論、栄養学基礎実験、栄養学実験
	応用栄養学	栄養学各論・応用栄養生理学等の講義、実習を通じて栄養学の応用的な知識と方法を身につける。	栄養学各論Ⅰ・Ⅱ、応用栄養生理学、栄養学実習、スポーツ栄養学
	臨床栄養学	病態栄養学・臨床栄養学・臨床栄養管理の講義、実験、実習を通じて、病態と栄養に関する知識と方法を修得する。	病態栄養学、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養管理、臨床栄養学実習Ⅰ、臨床栄養学実験
3) コミュニケーション能力	公衆栄養学	公衆栄養学・地域栄養活動の講義、実習を通じて、マスの栄養に関する知識と方法を身につける。	公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学実習Ⅰ
	総合演習	基礎から給食経営管理までの専門分野を統合できる能力、チーム医療の中でのコミュニケーション能力を修得する。	総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、チームパブリシティ演習
4) サービスマネジメント能力	給食経営管理論	給食経営管理論・フードシステム学等の講義、実習を通じて、マスの給食に関する知識と方法を身につける。	フードシステム学、給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理実習Ⅰ
	臨地実習	臨床栄養学・栄養教育・地域栄養・給食管理の臨地実習を通じて管理栄養士の実務を修得する。	臨床栄養学実習Ⅱ、給食運営実習、公衆栄養学実習Ⅱ、給食経営管理実習Ⅱ
5) 栄養指導能力	栄養教育論	栄養教育に関する講義、演習、実習を通じて栄養の教育に関する知識と方法を身につける。	栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、栄養教育プログラム論、カウンセリング演習、栄養教育実習
6) 問題解決能力	<b>卒業研究</b>	一つのテーマについての調査・研究を通じて研究の方法、データの解析、解釈そしてまとめるという総合的な能力を修得する。	卒業研究
7) 教育能力	<b>教職教育科目</b>	学校教育の意義の理解と、食育の実践に必要な知識、技術を身につける。	教師論、教育基礎論、教育心理学、教育課程論、教育方法論、教育相談、生徒指導論、教職実践演習（栄養教諭）、学校栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、学校栄養教育実習Ⅰ・Ⅱ

## 2. 3 卒業要件と履修方法

### (1) 卒業要件

栄養学科平成28年度入学生の卒業要件単位数は下表に示している。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	14 単位	14 単位	28 単位
学部教育科目	96 単位	4 単位	100 単位
計	110 単位	18 単位	128 単位

### (2) 卒業研究の履修要件

卒業研究の履修については、次の要件を充足しなければ履修申請できない。

卒業研究 10 単位を含む 23 単位以下を修得することにより卒業要件単位（必修 110 単位を含め 128 単位）を満たすこと

### (3) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

保健福祉学部の他学科ならびに他学部開講の学部教育科目の単位を履修した場合、履修単位の4単位までを本学科の卒業要件単位として認定することができる。また、修得単位は卒業研究履修要件の単位数に含める。

### (4) 履修モデル（履修上の留意点）

#### ① 共通教育科目について

共通教育科目は1年次を中心に、1年次から4年次までの間に履修する。とくに、本学科は学部教育における多くの科目の教育基盤である基礎生物学、基礎有機化学、統計学の基礎Bは1年次生で履修することが望ましい。

#### ② 学部教育科目について

学部教育科目の大半は必修科目となっているので、ここには履修モデルを挙げていないが、それぞれの開講年次に修得しておくことに留意すること。1年次から3年次前期にかけて開講される多くの科目は、3年次後期に開講されている3領域の臨地（学外）実習への準備という重要な意味を持つ。たとえば、公衆栄養学 I（1年次開講）、公衆栄養学 II（2年次開講）、公衆栄養学実習 I（3年次前期開講）を修得していない者は、臨地実習の公衆栄養学実習 II（3年次後期開講）を履修申請できない（図参照）。

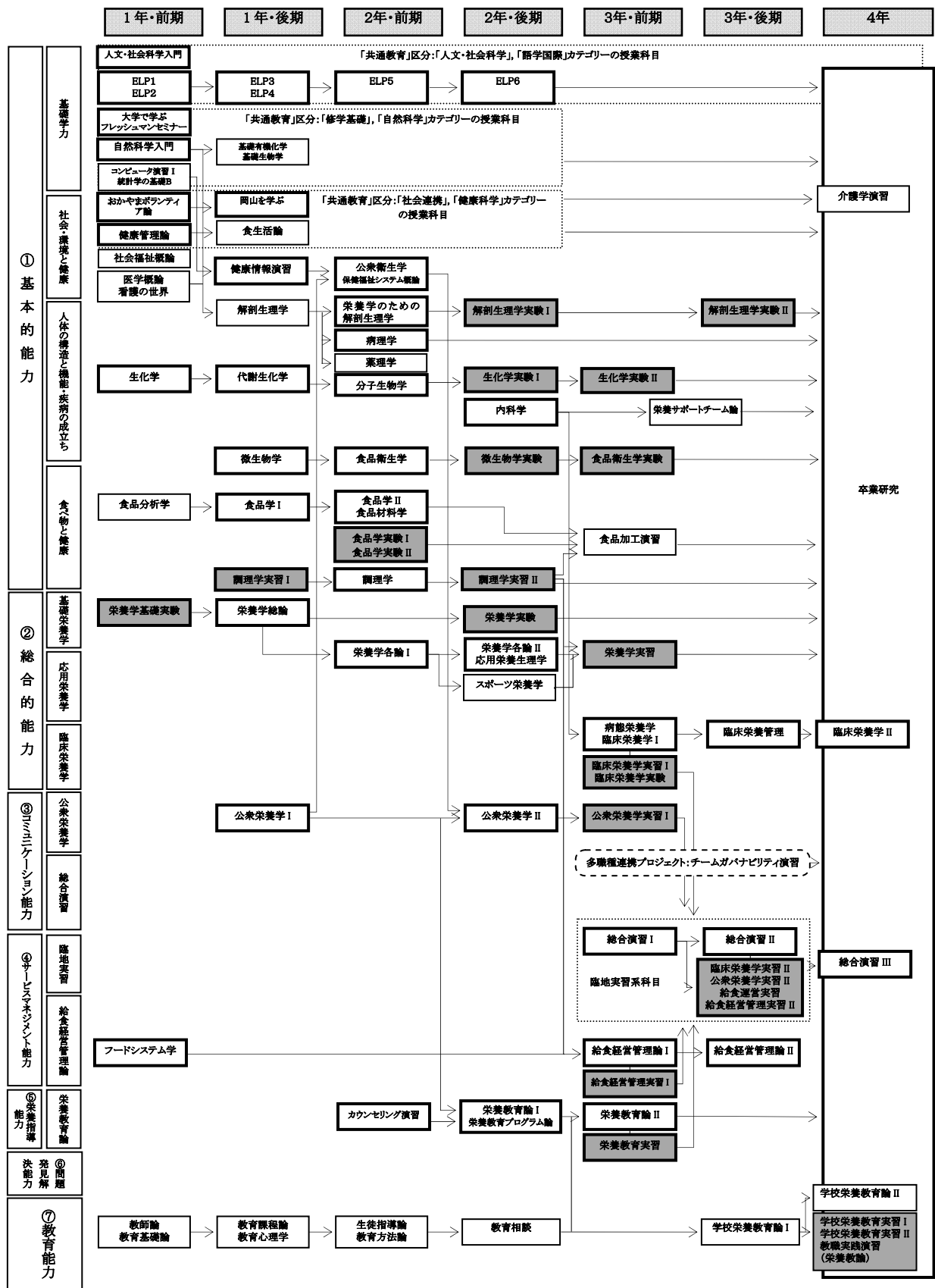


図 教育課程の編成と授業科目の関係(太枠で囲んだ科目は必修、網掛は実験実習科目)

## 2. 4 資格の取得

規定の単位（2.3 卒業要件と履修方法参照）を修得すれば、卒業と同時に栄養士免許と管理栄養士の国家試験受験資格に加えて、食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員の任用資格が得られる。

- (1) 栄養士免許：卒業後に、住居地の都道府県に申請することにより免許証を取得することができる。（付表1参照）
- (2) 管理栄養士国家試験受験資格：卒業後に、管理栄養士国家試験を受験し、合格者は住居地の都道府県に申請することにより免許証を取得することができる。（付表2参照）
- (3) 食品衛生管理者、食品衛生監視員：本学科はカリキュラム編成の点から、食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員養成施設（以後、食管養成施設という）の認定を受けている。付表3には、食管養成施設としての指定基準に定められた必要科目と対応した本学科における開講科目を示した。（食品衛生任用資格取得コース）

### [任用資格]

- ① 食品衛生管理者とは、食品または添加物の製造および加工を衛生的に管理するための専門資格であり、当該の施設ごとに配置することが義務づけられている。この資格は、卒業後に衛生管理を必要とする施設等に就職してから、居住地の都道府県に申請することにより取得できる。
- ② 食品衛生監視員とは、国、都道府県および保健所を設置する市で、食品衛生に関する監視、指導等に従事する職員（国家および地方公務員）のことである。この資格は、先の職業に就く時に必要である。詳細については、国または都道府県等の募集要項を参照されたい。

## 2. 5 入学前の既修得単位の認定（資格取得との関係において）

本学入学前に、他の大学または短期大学で修得した単位は、本学の卒業要件単位として認定されることがある（第1章 履修について参照）。ただし、食管養成施設でない大学または短期大学出身者が付表3に示した食管養成施設としての指定基準に定められた必要科目について認定を受けた場合は、食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員の任用資格は得られないことに留意すること。

## 2. 6 栄養教諭免許状の取得に関する単位履修要領

本学科は栄養教諭の教職課程の設置もあり、上記の卒業要件単位数の他に以下に示す所定の単位を修得すれば、栄養教諭の免許状が得られる。

### (1) 教育目標

本学科では、人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用できる人材育成の目的に基づき、学校においては児童生徒の健全な人間形成を支えるために食育を中心とした教育能力を備えた栄養教諭の養成をめざしている。

### (2) 免許状の種類：栄養教諭一種免許状

(3) 基礎資格：学士の学位を有し、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- ① 栄養士法第2条第3項の規定により管理栄養士の免許を受けていること。
- ② 栄養士法第5条の3第4号の規定により管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第2条第1項の規定により栄養士の免許を受けていること。

### (4) 所要単位数（必要最低単位数）

科目区分および単位数		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 8単位	教職に関する科目 18単位	栄養に係る教育に関する科目 4単位

### (5) 法令で規定された単位数

① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目		対応する開設授業科目		
科目	単位数	科目区分	授業科目名	単位数
日本国憲法	2	共通教育科目	日本国憲法	2
体育	2	共通教育科目	スポーツ I	1
			スポーツ II	1
			スポーツの科学	1
外国語コミュニケーション	2(*)	共通教育科目	English Language Program 1	1
			English Language Program 2	1
			English Language Program 3	1
			English Language Program 4	1
情報機器の操作	2	共通教育科目	コンピュータ演習 I	1
		学部教育科目	健康情報演習	1

\*ただし、本学科の卒業要件として右欄に示された英語4科目が必修科目となる。

② 教職に関する科目（教職科目）

免許法施行規則に定める科目	対応する開設授業科目	
科目	授業科目名	単位数
教職の意義等に関する科目	教師論	2
教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2
	教育心理学	2
教育課程に関する科目	教育課程論	2
	教育方法論	2
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導論	2
	教育相談（カウンセリング論を含む）	2
栄養教育実習	学校栄養教育実習 I（事前事後指導）	1
	学校栄養教育実習 II	1
教職実践演習	教職実践演習（栄養教諭）	2

③ 栄養に係る教育に関する科目

対応する開設授業科目	
授業科目名	単位数
学校栄養教育論 I	2
学校栄養教育論 II	2

**（6） 栄養教育実習の受講資格**

学校栄養教育実習（4年次前期）を受講するには、原則としてそれまでに履修しておかなければならないすべての科目（管理栄養士養成課程ならびに栄養教諭の教職課程の必修科目）の単位取得を必要とする。

**（7） 教職実践演習の受講資格**

教職実践演習（4年次後期）を受講するには、学校栄養教育実習の受講資格を得るとともに、1年次から履修しているすべての科目（管理栄養士養成課程ならびに栄養教諭教育課程）について、履修カルテ I および II を作成し、半期ごとに履修履歴に関して担当教員との面談を行うこと。



2. 7 授業科目  
(1) 学部教育科目

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数		
				1	2	3	4					
専	社会・環境と健康	医学概論	講義	高橋(徹)	○				15	1	100	
		公衆衛生学	講義	藤井(保)		◎			30	2		
		健康管理論	講義	高橋(徹)・井上(幸)	◎				30	2		
		社会福祉概論	講義	坂野	○				30	2		
		保健福祉システム概論	講義	※武田		◎			30	2		
		看護の世界	講義	山口(三)	○				15	1		
		食生活論	講義	岸本	○				15	1		
		健康情報演習	演習	田淵・吉村	◎				30	1		
		介護学演習	演習	谷口				○	30	1		
		門	人体の構造と機能・疾病の成立	病理学	講義	荻野		◎				30
生化学	講義			川上(祐)	◎				30	2		
微生物学	講義			田中	◎				30	2		
内科学	講義			入江		◎			30	2		
栄養サポートチーム論	講義			※未定			○		15	1		
代謝生化学	講義			山下 他	◎				30	2		
分子生物学	講義			田中		◎			30	2		
栄養学のための解剖生理学	講義			入江		◎			30	2		
薬理学	講義			入江		○			30	2		
解剖生理学実験Ⅰ	実験			高橋(吉)・川上(祐)		◎			45	1		
礎	の成立	解剖生理学実験Ⅱ	実験	入江・小川			◎		45	1		
		微生物学実験	実験	田中・吉村		◎			45	1		
		生化学実験Ⅰ	実験	川上(祐)・吉村		◎			45	1		
		生化学実験Ⅱ	実験	川上(祐)・吉村			◎		45	1		
		分	食への健康	食品学Ⅰ	講義	伊東	◎				30	2
				食品学Ⅱ	講義	伊東		◎			30	2
				食品材料学	講義	山下		◎			30	2
				食品加工演習	演習	中島・新田			○		30	1
				食品分析学	講義	中島	○				15	1
				食品衛生学	講義	田中		◎			15	1
調理学	講義			新田		◎			30	2		
食品学実験Ⅰ	実験			伊東・川上(祐)		◎			45	1		
食品学実験Ⅱ	実験			山下・吉村		◎			45	1		
食品衛生学実験	実験			田中・吉村			◎		45	1		
野	基礎栄養学	調理学実習Ⅰ	実習	新田・我如古	◎				45	1		
		調理学実習Ⅱ	実習	新田・我如古		◎			45	1		
		栄養学総論	講義	山本	◎				30	2		
		栄養学基礎実験	実験	中島・吉村	◎				45	1		
		栄養学実験	実験	山本・神崎		◎			45	1		
		門分野	応用栄養学	栄養学各論Ⅰ	講義	山本		◎			30	2
				栄養学各論Ⅱ	講義	山本		◎			30	2
				応用栄養生理学	講義	高橋(吉)		◎			30	2
				スポーツ栄養学	講義	山下・綾部		○			30	2
				栄養学実習	実習	山本・井上(里)			◎		45	1



(2) 教職教育科目

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	単位数			
				1	2	3	4		開講 単位数	必要 単位数		
教職教育科目	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教師論	講義	佐藤(和)	●				30	2	32 単 位
		教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	講義	池田	●				30	2	
			教育心理学	講義	樂木	●				30	2	
		教育課程に関する科目	教育課程論	講義	※岡田	●				30	2	
			教育方法論	講義	迫		●			30	2	
		生活指導及び教育相談に関する科目	生徒指導論	講義	※高木		●			30	2	
			教育相談(カウンセリング論を含む)	講義	京林		●			30	2	
		栄養教育実習	学校栄養教育実習Ⅰ(事前事後指導)	実習	川上(貴)他			●	●	45	1	
			学校栄養教育実習Ⅱ	実習	川上(貴)他				●	45	1	
		教職実践演習	教職実践演習(栄養教諭)	演習	川上(貴)他				●	60	2	
栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論Ⅰ	講義	川上(貴)・久保田			●		30	2			
	学校栄養教育論Ⅱ	講義	川上(貴)・※中桐				●	30	2			
第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	*1	講義	※伊藤(治)	●			30	2	2 単 位	
		スポーツⅠ	*1	講・実	高戸	○			30	1		
	体育	スポーツⅡ	*1	講・実	綾部	○			30	1		
		スポーツの科学	*1	講義	綾部	○			15	1		
	外国語コミュニケーション	English Language Program 1	*1	演習	※笠本	●			30	1		
		English Language Program 2	*1	演習	杉村	●			30	1		
		English Language Program 3	*1	演習	※笠本	●			30	1		
		English Language Program 4	*1	演習	杉村	●			30	1		
情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	*1	演習	※近藤(真)	●			30	1			
	健康情報演習	*2	演習	田淵・吉村	●			30	1			
(注) ・「*1」印は共通教育科目、「*2」印は学部教育科目 ・「●」印は栄養教諭一種免許状取得のための必修科目、「○」印は選択科目、「※」印は非常勤講師												
栄養教諭一種免許状取得のために必要な取得単位数 ・教職教育科目等 32単位(共通教育科目と学部教育科目の計10単位含む)												

(付表1) 栄養士の資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

栄養士法施行規則別表第1に定められる教育内容			保健福祉学部栄養学科における開設科目等		
教育内容	単位数		授業科目等の名称	相当単位数	
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2	
			健康管理論	2	
			保健福祉システム概論	2	
			健康情報演習	1	
			小計	7	0
人体の構造と機能	8	4	病理学	2	
			生化学	2	
			微生物学	2	
			内科学	2	
			代謝生化学	2	
			分子生物学	2	
			栄養学のための解剖生理学	2	
			解剖生理学実験Ⅰ		1
			解剖生理学実験Ⅱ		1
			微生物学実験		1
			生化学実験Ⅰ		1
生化学実験Ⅱ		1			
			小計	14	5
食品と衛生	6	4	食品学Ⅰ	2	
			食品学Ⅱ	2	
			食品材料学	2	
			食品衛生学	1	
			食品学実験Ⅰ		1
			食品学実験Ⅱ		1
			食品衛生学実験		1
			小計	7	3
栄養と健康	8	10	栄養学総論	2	
			栄養学各論Ⅰ	2	
			栄養学各論Ⅱ	2	
			応用栄養生理学	2	
			病態栄養学	2	
			臨床栄養学Ⅰ	2	
			臨床栄養学Ⅱ	2	
			臨床栄養管理	2	
			栄養学基礎実験		1
			栄養学実験		1
			栄養学実習		1
			臨床栄養学実験		1
			臨床栄養学実習Ⅰ		1
			小計	16	5
栄養の指導	6	10	栄養教育論Ⅰ	2	
			栄養教育論Ⅱ	2	
			栄養教育プログラム論	1	
			公衆栄養学Ⅰ	2	
			公衆栄養学Ⅱ	2	
			栄養教育実習		1
			公衆栄養学実習Ⅰ		1
			小計	9	2
給食の運営	4	10	給食経営管理論Ⅰ	2	
			給食経営管理論Ⅱ	1	
			フードシステム学	2	
			調理学	2	
			調理学実習Ⅰ		1
			調理学実習Ⅱ		1
			給食運営実習		1
			給食経営管理実習Ⅰ		1
			小計	7	4
小計	36	14	小計	60	19
合計	50		合計	79	

(付表2) 管理栄養士国家試験受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

管理栄養士学校指定規則別表第1に定められる教育内容			保健福祉学部栄養学科における開設科目等				
教育内容	単位数		授業科目等の名称	配当単位数			
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習		
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学	2	0	
				健康管理論	2		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	保健福祉システム概論	2	1	
				健康情報演習	1		
				小計	7		
				病理学	2		1
				生化学	2		
				微生物学	2		
				内科学	2		
				代謝生化学	2		
分子生物学				2			
栄養学のための解剖生理学				2			
解剖生理学実験Ⅰ							
解剖生理学実験Ⅱ							
微生物学実験							
生化学実験Ⅰ							
生化学実験Ⅱ							
小計	14	5					
食べ物と健康	8	10	食品学Ⅰ	2	1		
			食品学Ⅱ	2			
			食品材料学	2			
			食品衛生学	1			
			調理学	2			
			食品学実験Ⅰ				
			食品学実験Ⅱ				
			食品衛生学実験				
			調理学実習Ⅰ				
			調理学実習Ⅱ				
小計	9	5					
専門基礎分野小計	28	10	専門基礎分野小計	30	10		
専門分野	基礎栄養学	2	8	栄養学総論	2	1	
				栄養学基礎実験			
				栄養学実験			
	小計	2	2				
	応用栄養学	6	8	栄養学各論Ⅰ	2	1	
				栄養学各論Ⅱ	2		
				応用栄養生理学	2		
				栄養学実習			
	小計	6	1				
	栄養教育論	6	8	栄養教育論Ⅰ	2	1	
				栄養教育論Ⅱ	2		
				カウンセリング演習	1		
				栄養教育プログラム論	1		
	小計	6	1				
	臨床栄養学	8	8	病態栄養学	2	1	
臨床栄養学Ⅰ				2			
臨床栄養学Ⅱ				2			
臨床栄養管理				2			
臨床栄養学実験							
臨床栄養学実習Ⅰ							
小計	8	2					
公衆栄養学	4	8	公衆栄養学Ⅰ	2	1		
			公衆栄養学Ⅱ	2			
			公衆栄養学実習Ⅰ				
小計	4	1					
給食経営管理論	4	8	給食経営管理論Ⅰ	2	1		
			給食経営管理論Ⅱ	1			
			フードシステム学	2			
			給食経営管理実習Ⅰ				
小計	5	1					
総合演習	2	-	総合演習Ⅰ	1	0		
			総合演習Ⅱ	1			
			総合演習Ⅲ	1			
小計	3	0					
臨地実習	-	4	臨床栄養学実習Ⅱ		1		
			給食運営実習		1		
			公衆栄養学実習Ⅱ		1		
			給食経営管理実習Ⅱ		1		
小計	0	4					
専門分野小計	32	12	専門分野小計	34	12		
小計	60	22	小計	64	22		
合計	82		合計	86			

(付表3) 食品衛生管理者および食品衛生監視員の任用資格を取得するために必要な  
授業科目及び単位数

食管養成施設としての指定基準に定める必要科目		保健福祉学部栄養学科（食品衛生任用資格取得コース）開講科目			
科 目	単 位 数	科 目	単 位		
			必 修	選 択	
分析化学 有機化学 1科目以上 無機化学	22 単 位 以 上	生化学実験 II	1		
		生化学実験 I	1		
		生化学	2		
		栄養学基礎実験	1		
生物化学 食品化学			代謝生化学	2	
食品分析学 1科目以上			食品学 I	2	1
			食品学 II	2	
			食品材料学	2	
			食品分析学	1	
			食品学実験 I	1	
		食品学実験 II	2		
		栄養学のための解剖生理学	1		
生理学		解剖生理学実験 I	1		
毒性学		解剖生理学実験 II	1		
微生物学 食品微生物学 1科目以上 食品保存学・食品製造学	40 単 位 以 上	微生物学	2		
		微生物学実験	1	1	
		食品加工演習			
公衆衛生学 食品衛生学 1科目以上 環境衛生学 衛生行政学、疫学		公衆衛生学	2		
		食品衛生学	1		
		食品衛生学実験	1		
		公衆栄養学 I	2		
小 計			28	2	
(例示) 病理学 医学概論 栄養学、酵素化学 栄養学 環境保健学 解剖学、栄養化学、血清学 衛生管理学 衛生統計学 医化学、遺伝学 環境保健学 衛生管理学 衛生管理学 血液学、栄養化学 衛生管理学	上	(例示科目該当科目)		1	
			病理学		2
		医学概論			
		栄養学総論	2		
		栄養学各論 I	2		
		栄養学各論 II	2		
		栄養学実験	1		
		臨床栄養学 I	2		
		臨床栄養学 II	2		
		病態栄養学	2		
		応用栄養生理学	2		
		臨床栄養学実習 I	1		
		臨床栄養学実習 II	1		
		臨床栄養学実験	1		
		公衆栄養学実習 I	1		
		(例示科目以外の関連科目)		1	
		調理学	2		
		調理学実習 I	1		
		調理学実習 II	1		
		食生活論			
		栄養教育論 I	2		
		栄養教育論 II	2		
		栄養教育実習	1		
		給食経営管理論 I	2		
		給食経営管理論 II	1		
		フードシステム学	2		
		給食経営管理実習 I	1		
		給食経営管理実習 II	1		
		給食運営実習	1		
小 計			38	2	
合 計			66	4	

### 3 保健福祉学科

#### 3. 1 本学科の教育方針（ディプロマ・ポリシーより）

保健福祉学科は、深い教養と豊かな人間性を兼ね備え、福祉的視点と方法に基づいて、子ども、障害者、高齢者等すべての人々の自立と自己実現を支援し、健康と幸福の増進に寄与することのできる人材を育成することを目指しています。社会福祉学専攻では、特に社会における多様な福祉課題に対処する問題解決能力と共感力を持った人材を、また子ども学専攻では、教育的視点と方法を併せ持った、子どもの育ちと学びに関わる人材を育成することを目指しています。

したがって、本学科では次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

<両専攻に共通した能力>

- 多様な文化や価値観を受け容れ、福祉的・国際的視野を持って問題解決できる力を身に付けている
- 自ら学び続ける姿勢と習慣を持ち、保健福祉学の創造に貢献できる力を身に付けている

<社会福祉学専攻>

- 社会福祉学の基盤となる、人間、健康、社会に関する幅広い知識と論理的な思考力を身に付けている
- 社会福祉学と健康科学の知識・理論を身に付けている
- ソーシャルワークの方法及び実践的な支援技術を身に付けている

<子ども学専攻>

- 子ども学の基盤となる、人間、健康、社会、教育における幅広い知識と論理的な思考力を身に付けている
- 子どもに対して具体的・実践的な指導・支援ができる力を身に付けている
- 子どもの育ちと学びを家庭や地域との関係の中で捉える力を身に付けている

#### 3. 2 教育課程（カリキュラム）の概要（カリキュラム・ポリシーより）

- 1 社会福祉学専攻、子ども学専攻の2専攻を設置しています。
- 2 両専攻の学生が履修する科目として、「保健福祉学Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉原論」「人体の構造と機能Ⅰ」など保健福祉学や関連諸科学の基礎知識を修得するための科目を設置しています。
- 3 1年次から2年次までに共通教育科目を履修します。その履修を通して広範な知識の修得と異文化理解によるグローバルな視点、深い教養と豊かな人間性や高い倫理観の涵養、専門職業人としての基本的な能力を育成します。
- 4 1年次は「入門ゼミナール」、2年次は「基礎ゼミナール」、3年次は「専門ゼミナール」、4年次は「研究ゼミナール（卒業研究）」を履修します。この履修を通じて、問題の解決力や実践力を身に付け、保健福祉学の創造に貢献できる能力を育成します。
- 5 1年次から4年次まで、専門職として必要な専門科目を履修します。この履修を通じて、専門職業人として必要な高度な専門知識と論理的思考力を修得します。社会福祉学専攻では、ソーシャルワークの方法や実践的な支援技術、介護支援の方法や技術、諸外国の保健福祉制度・政策を学び、多様な福祉課題に対処できる能力を育成します。子ども学専攻では、子どもや家庭・地域を理解し指導・支援するための福祉と教育の方法や実践的な支援技術を学び、子どもの育ちと学びを支えるための能力を育成します。
- 6 社会福祉学専攻においては、共通教育科目及び学部教育科目の中から履修し、卒業時には社会福祉士及び介護福祉士国家試験受験資格取得が可能となります。
- 7 子ども学専攻においては、共通教育科目及び学部教育科目の中から履修し、卒業時には幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格取得が可能となります。

### 3.3 教育課程の編成

保健福祉学科では以下に示す教育課程を編成している。

専門共通科目	両専攻の学生が履修する科目である。保健福祉学の基礎理論及び知識を修得するとともに、研究方法を身につけ卒業論文としてまとめる。
専門科目（社会福祉学専攻）	主に社会福祉学専攻の学生が履修する科目である。人々の健全で自立した生活を支援するために必要な専門的理論、知識、方法・技術を修得する。
専門科目（子ども学専攻）	主に子ども学専攻の学生が履修する科目である。子どもたちの豊かな育ちと学びを支援するために必要な専門的理論、知識、方法・技術を修得する。

### 3.4 卒業要件と履修方法

#### (1) 卒業要件

保健福祉学科（平成28年度入学生用）

社会福祉学専攻	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	16 単位	12 単位	28 単位
学部教育科目	19 単位	77 単位	96 単位
計	35 単位	89 単位	124 単位

子ども学専攻	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	25 単位	3 単位	28 単位
学部教育科目	83 単位	13 単位	96 単位
計	108 単位	16 単位	124 単位

#### (2) 他専攻または他学部・他学科開講科目の扱い

##### ①他専攻開講科目

保健福祉学科の他専攻が開講する学部教育科目（専門科目）を修得した場合、修得単位10単位までを所属専攻の学部教育科目の選択科目として認定する。当該授業科目のカテゴリーは保健福祉学科長が決定する。修得単位は卒業要件単位数に含める。

なお、他専攻の科目のうち履修できるものは講義科目に限られ、原則として演習・実習科目は履修できない。

##### ②他学部・他学科開講科目

保健福祉学部の他学科並びに他学部が開講する学部教育科目を修得した場合、修得単位の4単位までを本学科の学部教育科目の選択科目として認定する。当該授業科目のカテゴリーは保健福祉学部長が決定する。修得単位は卒業要件単位数に含める。

なお、①と②で認定される単位数は、あわせて10単位を上限とする。

#### (3) 他専攻開講科目の単位認定手続き

他専攻開講科目を修得した場合、卒業要件単位としての認定はそれぞれの学年末に行われる。



### 3. 5 社会福祉学専攻

#### (1) 教育課程

社会福祉学専攻の教育課程は、教育方針に従いながら専門の知識と技術を教授すると共に、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い豊かな人間性を涵養することをねらいとして、専門共通科目と3領域（生活支援領域、自立支援領域、国際福祉領域）の専門科目から構成されている。

社会福祉学専攻 教育課程（カリキュラム）		概 要
専門共通科目		保健福祉学の基礎理論や関連諸科学の専門的知識を修得する。 1年次から4年次までの小グループによる一貫教育を通して、研究方法を修得すると共に、卒業論文の執筆にむけた指導を行う。
専 門 科 目	生活支援領域科目	主に、社会福祉士に必要な社会福祉学の専門的知識及びソーシャルワークの方法・技術を修得する。
	自立支援領域科目	主に、介護福祉士に必要な介護福祉学の専門的知識及びケアワークの方法・技術を修得する。
	国際福祉領域科目	諸外国の保健・福祉領域の現状や動向を学習し、国際的な視野を修得する。

#### (2) 履修上の留意点

社会福祉学専攻における学部教育科目は、資格取得のための科目と、スペシャリストとして必要な専門基礎に関する科目及びより専門性を高めるための科目からなる。将来の進路としては、社会福祉行政、児童施設、高齢者施設、障害者施設、病院、福祉関連企業などがある。履修計画では、このことを考えて、必修科目や資格取得科目だけでなく、専門分野に沿った選択科目を幅広く履修し、専門職としての見識や能力をより高めるようにする。

ただし、介護福祉士受験資格履修以外の学生は、自立支援領域科目の内、介護福祉士受験資格取得のための科目の「介護」「医療的ケア」領域の科目は履修できない。

#### (3) 研究ゼミナールの履修要件

4年次には必修科目として、卒業論文に取り組むための「研究ゼミナール」を課している。「研究ゼミナール」の履修要件は、4年次に、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することにより卒業要件単位（共通教育科目と学部教育科目を総合した124単位）を満たすものとする。

#### (4) 資格取得

社会福祉学専攻では、社会福祉士の受験資格（表1）と社会福祉主事任用資格（表3）が取得できる。これに加えて、介護福祉士の受験資格（表2）が取得できる。なお、介護福祉士の受験資格のみを単独で取得することもできる。ただし、介護福祉士受験資格の最大定員は30名であるため、希望者が定員を超えた場合には選択できない場合もある。介護福祉士受験資格の取得を希望する学生は、1年次前期終了時に決定し、1年次後期から自立支援領域の専門を履修する。

社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」で位置づけられた、社会福祉業務に携わる人の国家資格である。

本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回1月に実施される国家試験に合格すれば、社会福祉士として登録できる。「社会福祉士及び介護福祉士法」には「社会福祉士とは、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」と規定されている。

介護福祉士の資格は、「社会福祉士及び介護福祉士法」で位置づけられた、介護業務に携わる人の国家資格である。本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回1月に実施される国家試験に合格すれば、介護福祉士として登録できる。「社会福祉士及び介護福祉士法」では、「介護福祉士とは、専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護（喀痰吸引その他のその者が日常生活を営むのに必要な行為であって、医師の指示の下に行われるもの（厚生労働省令で定めるものに限る。）を含む。）を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者」と規定されている。

社会福祉主事は、「社会福祉法」に規定された資格で、基本的には、都道府県、市町村の行政職や福祉職の公務員試験に合格し、福祉事務所などのケースワーカーに採用される場合に活きる資格である。また、一定の社会福祉施設の生活支援員の資格にも準用される。この資格を得るためには、「社会福祉主事に関する指定科目」（表3 「社会福祉主事に関する指定科目」）のうち、いずれか3科目を取得する必要がある。

**表1 社会福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数**

厚生労働省告示に定める科目	保健福祉学科開講科目				
	科目	科目	受験資格科目	国家試験科目	時間数
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能 I	3科目のうち 1科目(※)	○	○	30
心理学理論と心理的支援	心理学入門		○	○	30
社会理論と社会システム	産業と社会		○	○	30
現代社会と福祉	社会福祉原論	○	○	○	30
	社会福祉政策論	○	○	○	30
社会調査の基礎	社会福祉調査論	○	○	○	30
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク論	○	○	○	30
	福祉専門職論	○	○	○	30
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク I	○	○	○	30
	ソーシャルワーク II	○	○	○	30
	ソーシャルワーク III	○	○	○	30
	社会福祉調査演習	○	○	○	30
地域福祉の理論と方法	地域福祉論	○	○	○	30
	地域組織論	○	○	○	30
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行財政論	○	○	○	30
	福祉計画論	○	○	○	30
福祉サービスの組織と経営	社会福祉施設経営論	○	○	○	30
社会保障	社会保障論 I	○	○	○	30
	社会保障論 II	○	○	○	30
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論 I	○	○	○	30
	高齢者福祉論 II	○	○	○	30
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論 I	○	○	○	30
	障害者福祉論 II	○	○	○	30
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童福祉論 I	○	○	○	30
	児童福祉論 II	○	○	○	30
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	○	○	○	30
保健医療サービス	保健医療制度	○	○	○	30
就労支援サービス	就労支援制度	3科目のうち 1科目(※)	○	○	30
権利擁護と成年後見制度	権利擁護・成年後見制度		○	○	30
更生保護制度	司法福祉論		○	○	15
相談援助演習	ソーシャルワーク演習 I	○	○	○	60
	ソーシャルワーク演習 II	○	○	○	60
	ソーシャルワーク演習 III	○	○	○	30
相談援助実習指導	ソーシャルワーク実習指導 I	○	○	○	45
	ソーシャルワーク実習指導 II	○	○	○	45
	ソーシャルワーク実習指導 III	○	○	○	45
相談援助実習	ソーシャルワーク実習	○	○	○	180

※受験資格科目としてはこのように定められているが、すべて国家試験科目であり履修すること。

**表2 介護福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数**

社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則 別表第4に定められる科目			保健福祉学科社会福祉学専攻介護福祉コースにおける 開設科目等			備 考	
領域	教育内容	指定時間数	授業科目等の名称	配当単位数	配当時間数		
人間と社会	人間の尊厳と自立	30	社会福祉原論	2	30	左記授業科目を必ず履修し、修得すること。	
	人間関係とコミュニケーション	30	ソーシャルワーク I	2	30		
	社会の理解	60	高齢者福祉論 I	2	30		
	人間と社会に関する選択科目			地域福祉論	2	30	左記授業科目の中の単位数に関わらず指定時間数240時間以上に相当する科目を選択し、修得すること。
				産業と社会	2	30	
				権利擁護・成年後見制度	2	30	
				自然科学入門	2	30	
			社会保障論 I	2	30		
介護	介護の基本	180	介護原論	2	30	左記授業科目を必ず履修し、修得すること。	
			介護福祉実験演習	1	30		
			多文化介護論	2	30		
			生活とエルゴノミクス	2	30		
			介護管理	1	15		
			介護福祉経営論	1	15		
			生活維持・活性論	2	30		
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーション技術論 I	1	30		
			コミュニケーション技術論 II	1	30		
	生活支援技術	300	福祉用具の活用技術と理論	1	30		
			生活支援技術 I	1	30		
			生活支援技術 II	1	30		
			生活支援技術 III	1	30		
			生活支援技術 IV	1	30		
			生活支援技術 V	2	60		
			生活支援技術 VI	1	30		
			家政学演習	1	30		
	介護過程	150	住環境科学演習	1	30		
			介護過程総論	1	30		
			介護過程 I (基礎)	1	30		
			介護過程 II (応用)	1	30		
	介護総合演習	120	介護過程 III (実践)	2	60		
			介護総合演習 (導入)	1	30		
			介護総合演習 I	1	30		
			介護総合演習 II	1	30		
	介護実習	450	介護総合演習 III	1	30		
			介護福祉実習 I	2	90		
介護福祉実習 II			4	180			
			介護福祉実習 III	4	180		
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	老年科学	2	30		
			老年医学	2	30		
	認知症の理解	60	認知症論	2	30		
			認知症ケア論	2	30		
	障害の理解	60	障害科学 I	2	30		
			障害科学 II	2	30		
	こころとからだのしくみ	120	人体の構造と機能 I	2	30		
			人体の構造と機能 II	2	30		
精神保健			2	30			
心理学入門			2	30			
医療的ケア	医療的ケア	50 所定回数	医療的ケア I	1	20	左記授業科目は選択とする。	
			医療的ケア II	1	20		
			医療的ケア III	1	20		
			医療的ケア演習 I	1	30		
			医療的ケア演習 II (実地研修)	2	60		

- (注) 1. 介護福祉士資格取得を希望する者は、介護福祉コースに在籍し、上記に定める科目のうち「医療的ケア」領域を除く全ての科目及び単位を修得することにより介護福祉士国家試験受験資格を得ることができる。
2. 介護福祉コース以外の学生は、この表の領域「介護」「医療的ケア」の授業科目を履修できない。
3. 上記に定める科目の出席時間数が指定規則に定める時間数の3分の2(ただし、介護実習については5分の4)に満たない者については、当該科目の単位を認定しない。
4. 介護福祉コースへの転学(編入学を含む。)及び移籍は認めない。
- ※法令等の改正により、変更が生じた場合には別途通知する。

**表3 社会福祉主事に関する指定科目**

指定科目	保健福祉学科開講科目	指定科目	保健福祉学科開講科目
社会福祉概論	社会福祉原論	法学	現代社会と法律(共通教育科目)
社会福祉事業史	社会福祉発達史	民法	なし
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク論	行政法	なし
社会福祉調査論	社会福祉調査論	経済学	現代社会と経済(共通教育科目)
社会福祉施設経営論	社会福祉施設経営論	社会政策	なし
社会福祉行政論	社会福祉行財政論	経済政策	なし
社会保障論	社会保障論Ⅰ、Ⅱ	心理学	心理学入門(共通教育科目)
公的扶助論	公的扶助論	社会学	産業と社会
児童福祉論	児童福祉論Ⅰ、Ⅱ	教育学	なし
家庭福祉論	なし	倫理学	倫理学の基礎(共通教育科目)
保育理論	保育原理Ⅰ、Ⅱ	公衆衛生学	公衆衛生
身体障害者福祉論	障害者福祉論Ⅰ、Ⅱ	医学一般	人体の構造と機能Ⅰ
知的障害者福祉論	知的発達と障害	リハビリテーション論	なし
精神障害者保健福祉論	精神障害者福祉論	看護学	看護の世界(他学科教育科目)
老人福祉論	高齢者福祉論Ⅰ、Ⅱ	介護概論	介護原論
医療社会事業論	保健医療制度	栄養学	栄養学総論(他学科教育科目)
地域福祉論	地域福祉論	家政学	なし

**(5) 学外実習科目の履修要件**

以下の実習科目を履修するためには、それぞれ以下の要件を満たす必要がある。また、事前に健康診断、麻疹抗体検査、腸内細菌検査等の受診が必要である。

①ソーシャルワーク実習

3年次にソーシャルワーク実習を履修する学生は、以下のすべての要件を満たすことを原則とする。

- ・2年次までに開講されている社会福祉士国家試験受験科目がすべて単位認定されていること。
- ・2年次開講の社会福祉士国家試験受験科目のうち演習および実習指導に関する科目において原則欠席がなく、授業の中で指示された所定の提出物(レポート等を含む)の提出がすべて行われていること。
- ・あらゆる領域・分野の対象者に関心を持って勉学に勤しみ、資格取得の意欲をもって実習に臨むことができること。
- ・伝染性疾患を有しない者、その他実習に支障のない者であること。

②介護福祉実習Ⅰ、介護福祉実習Ⅱ、介護福祉実習Ⅲ

介護福祉実習Ⅰ、介護福祉実習Ⅱ、介護福祉実習Ⅲのそれぞれの実習までに開講されている介護福祉士国家試験受験科目のうち、介護領域の科目が履修及び認定されていることを原則とする。

### 3. 6 子ども学専攻

#### (1) 教育課程

「福祉と教育が融合した子ども学」を学ぶために、子ども学専攻の教育課程は、1) 専門共通科目と2) 専門科目の2つから構成されている。保健・福祉の知識及び方法の基礎的修得と子どもの育ちと学びを支えるための専門知識と技術とを有機的に結びつける構成により、実践的な指導ができる力量の強化を目指しているところに特色がある。なお、子ども学専攻における専門科目は、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格を有する専門職として必要な、専門基礎に関する科目を必修科目として、より専門性を高めるための科目を選択科目として設置している。

子ども学専攻 教育課程(カリキュラム)		概 要
専門共通科目		保健福祉学の基礎理論や関連諸科学の専門的知識を修得する。 1年次から4年次までの小グループによる一貫教育を通して、研究方法を修得すると共に、卒業論文の執筆にむけた指導を行う。
専 門 科 目	基礎領域科目	i) 理論系科目 教育・保育の基礎理論や、子どもの育ちと学びにかかわる環境について理解する。 ii) 実践系科目 教育・保育に必要とされる方法や技術を修得する。
	応用領域科目	教育・保育や家庭支援に必要となる知識、技術をさらに深く修得し総合的に活用する力量を形成する。 現場実践への応用を学ぶために教育実習・保育実習を行う。
	総合領域科目	子どもと家庭・地域社会の問題を理解し、支援するための保健福祉学的視点と力量を修得する。

#### (2) 履修上の留意点

共通教育科目(2-7頁参照)は、教育職・保育職に求められる豊かな知識・教養を涵養するものであるとともに、専門に進む基礎となるものである。このため、1、2年次で履修することが望ましい。

専門共通科目は、保健福祉学の理論と方法の基礎を修得するものである。また、1年次から4年次まで全学年で少人数制のゼミナール教育を実施しており、大学での学びへの導入から専門研究へと段階的に導いていく内容となっている。1年次の「入門ゼミナール」では、保健福祉学という視点から大学での学びの導入を行い、2年次の「基礎ゼミナール」では子ども学という視点から研究方法の基礎を学ぶ。3年次後期からは研究室に所属し、4年次の「研究ゼミナール」において卒業研究に取り組み卒業論文を作成する。但し、「研究ゼミナール」の履修には3年次までに所定の単位数を修得していることが必要である。

専門科目は、子どもの育ちと学びに関わる理論や知識、方法・技術を修得するとともに実践的指導力・支援力を培うものである。そのため、子ども学専攻専門科目の内容は、基礎領域科目(理論系科目及び実践系科目)、応用領域科目、総合領域科目の3つの領域科目から構成されている。学年に従って段階的に、基礎領域科目において修得した理論や知識、方法・技術を、応用領域科目で総合的に活用する力量を形成し、教育実習・保育実習における実践とその振り返りからさらに学びを深めていく。なお、専門科目の多くは卒業に必要な科目となっている。また、各年次に開講されている教育実習及び保育実習の履修に必要な科目については必ず履修し修得しなければならない。

### (3) 研究ゼミナールの履修要件

「研究ゼミナール」は、卒業研究に取り組むための4年次の必修科目である。子ども学専攻の「研究ゼミナール」の履修要件は、4年次に研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することにより卒業要件単位（共通教育科目と学部教育科目を総合した124単位）を満たすものとする。

### (4) 資格取得

#### 1) 幼稚園教諭一種免許状

##### ①資格の概要

幼稚園教諭は、学校教育法に定められた幼稚園において「幼児の保育をつかさどる」（学校教育法第27条）教員である。幼稚園教諭は家庭・地域社会と連携しながら生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担っている。

##### ②免許状の種類 幼稚園教諭一種免許状

子ども学専攻では必要な単位数を修得することにより、卒業と同時に幼稚園教諭一種免許状を取得することができる。

##### ③基礎資格と最低修得単位数

教育職員免許法では「基礎資格」を有し、「文部科学省令に定める科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）」、「教職に関する科目」、「教科に関する科目」及び「教科または教職に関する科目」について所定の単位数（最低修得単位）が定められている。それに基づいて本学での開設科目と単位数を定めている（表4参照）。

	基礎資格	最低修得単位数	文部科学省令に定める科目（8単位）	教科に関する科目（6単位）	教職に関する科目（35単位）	教科または教職に関する科目（10単位）
幼一種免	学士の学位	本学 子ども学 専攻	8単位	10単位	38単位	10単位

( ) 内は法定単位数

#### ④単位修得及び履修の方法

##### (1) 学士の学位を有すること

教育職員免許状を取得するには、基礎資格である学士の学位（卒業）を有することが前提となる。また、専攻に指定された卒業に必要な科目を修得しなければならない。さらに、その中には文部科学省令に定める、教育職員免許法施行規則第66条の6の科目（7科目8単位）を含むという制限があるので注意をして履修すること。

##### (2) 教科に関する科目 10単位以上

「教科に関する科目」は免許状の教科別に定められた科目で、専門科目の一部からなっている。一部の科目を除き必修となる。

##### (3) 教職に関する科目 38単位

「教職に関する科目」は免許状を取得するうえで、すべての科目が必修となる。なお、教職に関する科目のうち、「教育と社会」は共通教育科目である。

##### (4) 教科又は教職に関する科目 10単位以上

「教科又は教職に関する科目」は、免許状を取得するうえで、一部の必修科目を除き、選択科目となる。

## ⑤教育実習について

教育実習は、教員免許状の取得を目指す学生たちにとっては欠かすことのできないものである。実際の教育現場において、大学で学んだ理論や知識を生かすとともに、教育の現場に触れながら教育の実践的な知識、技能等の基礎を修得するものである。実習についての詳細は教育実習の手引きに記載されている。

### (1)教育実習の期間と単位数

種類	期間	科目名	単位	年次
幼稚園教育実習	4週間	教育実習	4	3
		教育実習指導	1	3

### (2)教育実習履修資格

教育実習を履修するには、原則として以下の履修要件を満たすことが必要である。

- ア) i 教科に関する科目を3科目4単位以上修得していること。
- ii 教職に関する科目を15科目以上20単位以上修得していること。
- iii 文部科学省令に定める科目（教育職員免許法施行規則第66条の6）を全て修得していること。
- イ) 教育実習の事前指導を受けていること。
- ウ) 伝染性疾患を有しない者、その他実習に支障のないものであること。

## ⑥教職実践演習について

教職実践演習（「保育・教職実践演習」）は教職課程の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として形成されたかについて確認する科目である。したがって、4年次後期に開講され、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置づけられている。本学における「保育・教職実践演習」を履修するためには以下の条件を満たしていることが必要である。

- ア) 各年次の専攻オリエンテーションに必ず参加していること。
- イ) 1年次から履修している教職課程科目について、履修カルテⅠ及びⅡを作成していること。
- ウ) 履修履歴に関して担当教員との面談を行っていること。
- エ) 原則として、教育実習を終えていること。

## 2) 保育士資格

### ①資格の概要

保育士は、児童福祉法に「専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」（児童福祉法第18条の4）と定められている。保育士は保育所をはじめとした児童福祉施設に配置の専門職であり、子ども及び子育て支援の中核を担う専門職として重要な役割を担っている。

### ②資格の種類 保育士（国家資格）

子ども学専攻では必要な単位数を修得することにより、卒業と同時に保育士資格を取得することができる。

### ③単位修得及び履修の方法

厚生労働省告示により保育士を養成する学校の修業教科目と単位数が定められている。それに基づいて本学での開講科目と単位数を定めている（表5参照）。

#### (1)教養科目 10単位以上

教養科目においては卒業必修科目以外に、「スポーツの科学」及び「スポーツⅠ」は必ず履修し修得すること。



(2) 必修科目 54単位

すべての科目が必修となる。

(3) 選択必修科目 9単位以上

選択必修科目においては、保育実習Ⅱ及び保育実習指導Ⅱ、または保育実習Ⅲ及び保育実習指導Ⅲのいずれかを必ず履修し修得すること。

#### ④保育実習について

保育実習は、保育士養成校において修得した知識や技術を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うことを目的としている。実習についての詳細は保育実習（保育所・施設）の手引きに記載されている。

(1) 保育実習の期間と単位数

種 類		期 間	科 目 名	単 位	年 次
必 修	児童福祉施設 (保育所以外)での実習	10日間 (宿泊)	保育実習ⅠA	2	2
			保育実習指導ⅠA	1	2
	保育所での実習	10日間	保育実習ⅠB	2	3
			保育実習指導ⅠB	1	3
選 択 必 修	保育所での実習	10日間	保育実習Ⅱ	2	4
			保育実習指導Ⅱ	1	4
	児童福祉施設 (保育所以外)での実習	10日間	保育実習Ⅲ	2	4
			保育実習指導Ⅲ	1	4

(2) 保育実習履修資格

保育実習（「保育実習ⅠA」、「保育実習ⅠB」、「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」）を履修するには、以下の履修要件を満たすことが必要である。

ア) 各実習に該当する保育実習指導を合わせて履修すること。

イ) 原則として、保育士資格に必要な授業科目（表5）の内、各実習までに開講されている必修科目を修得していること。

ウ) 健康診断、麻疹抗体検査、腸内細菌検査等を事前に受診していること。

#### ⑤保育士登録について

「保育士」として業務を行う場合、都道府県知事に対し、業務に就く前に保育士登録手続きを行う必要がある（児童福祉法第18条の6、第18条の18）。保育士登録手続は4年次後期に大学を通して行う。

### 3) 社会福祉主事

資格の概要及び指定科目については、表3を参照のこと。

表4 幼稚園教諭一種免許状を取得するために必要な授業科目

教育職員免許法施行規則に定める科目		子ども学専攻開講科目	授業の方法	配当時間数	配当単位数	必修選択の別		
教科に関する科目	国語	国語	講義	30	2	必修		
	生活	生活	講義	30	2	必修		
	音楽	音楽Ⅰ（声楽）	音楽Ⅰ（声楽）	演習	30	1	必修	
		音楽Ⅰ（ピアノ①）	音楽Ⅰ（ピアノ①）	演習	30	1	必修	
		音楽Ⅱ（ピアノ②）	音楽Ⅱ（ピアノ②）	演習	30	1	選択	
		音楽Ⅱ（ピアノ③）	音楽Ⅱ（ピアノ③）	演習	30	1	選択	
	図画工作	図画工作Ⅰ	図画工作Ⅰ	演習	30	1	必修	
		図画工作Ⅱ	図画工作Ⅱ	演習	30	1	必修	
	体育	体育Ⅰ（表現運動）	体育Ⅰ（表現運動）	演習	30	1	必修	
		体育Ⅱ（運動遊び）	体育Ⅱ（運動遊び）	演習	30	1	必修	
	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教師論	講義	30	2	必修	
		教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	講義	30	2	必修	
			教育心理学	講義	30	2	必修	
			子どもの心理学	演習	30	1	必修	
			障害児の発達と教育	演習	30	1	必修	
			教育と社会	講義	30	2	必修	
		教育課程及び指導法に関する科目	カリキュラム論	カリキュラム論	講義	30	2	必修
			保育内容総論	保育内容総論	演習	30	1	必修
			保育内容Ⅰ（健康）	保育内容Ⅰ（健康）	演習	30	1	必修
			保育内容Ⅰ（人間関係）	保育内容Ⅰ（人間関係）	演習	30	1	必修
保育内容Ⅰ（環境）			保育内容Ⅰ（環境）	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ（言葉）			保育内容Ⅰ（言葉）	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ（造形表現）			保育内容Ⅰ（造形表現）	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ（音楽表現A）			保育内容Ⅰ（音楽表現A）	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ（音楽表現B）			保育内容Ⅰ（音楽表現B）	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ（身体表現）			保育内容Ⅰ（身体表現）	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅱ（音楽表現）			保育内容Ⅱ（音楽表現）	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅱ（総合表現）			保育内容Ⅱ（総合表現）	演習	45	2	必修	
保育内容指導法			保育内容指導法	演習	30	1	必修	
障害児指導法			障害児指導法	演習	30	1	必修	
幼児教育方法論			幼児教育方法論	講義	30	2	必修	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目		幼児理解の理論と方法	幼児理解の理論と方法	講義	30	2	必修	
		保育・教育相談	保育・教育相談	演習	30	1	必修	
教育実習		教育実習	教育実習	実習	180	4	必修	
		教育実習指導	教育実習指導	演習	30	1	必修	
教職実践演習		保育・教職実践演習	演習	60	2	必修		
教科または教職に関する科目		身体機能と障害	身体機能と障害	講義	30	2	選択	
		知的発達と障害	知的発達と障害	講義	30	2	選択	
		子どもの保健ⅠA	子どもの保健ⅠA	講義	30	2	選択	
		子どものメンタルヘルス	子どものメンタルヘルス	講義	30	2	選択	
		子どもの食と栄養Ⅰ	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	30	1	選択	
		子ども臨床基礎論	子ども臨床基礎論	講義	30	2	必修	
		子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	講義	30	2	選択	
	子どもの発達と支援	子どもの発達と支援	演習	30	1	選択		
	子どもの発達と表現	子どもの発達と表現	演習	30	1	選択		
	日本国憲法	日本国憲法	講義	30	2	必修		
体育	スポーツⅠ	スポーツⅠ	講義・実技	30	1	必修		
	スポーツⅡ	スポーツⅡ	講義・実技	30	1	必修		
外国語コミュニケーション	English Language Program 1	English Language Program 1	演習	30	1	必修		
	English Language Program 3	English Language Program 3	演習	30	1	必修		
情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	コンピュータ演習Ⅰ	演習	30	1	必修		
	コンピュータ演習Ⅱ	コンピュータ演習Ⅱ	演習	30	1	必修		
則教育職員免許法に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	講義	30	2	必修		
体育	スポーツⅠ	スポーツⅠ	講義・実技	30	1	必修		
	スポーツⅡ	スポーツⅡ	講義・実技	30	1	必修		
外国語コミュニケーション	English Language Program 1	English Language Program 1	演習	30	1	必修		
	English Language Program 3	English Language Program 3	演習	30	1	必修		
情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	コンピュータ演習Ⅰ	演習	30	1	必修		
	コンピュータ演習Ⅱ	コンピュータ演習Ⅱ	演習	30	1	必修		

履修方法  
 幼稚園教諭一種免許状取得のために必要な修得単位数は下記の66単位とする。  
 ①教科に関する科目 計10単位  
 ②教職に関する科目 計38単位  
 なお、教職に関する科目のうち、「教育と社会」は共通教育科目である。  
 ③教科または教職に関する科目から計10単位  
 ④教育職員免許法施行規則第66条の6の科目について、共通教育科目から計8単位

表5 保育士の資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

保育士を養成する学校の修業教科目 (平成22年厚生労働省告示第278号)				保健福祉学科子ども学専攻 における開設科目等		備考					
区分	教育内容		単位数	授業科目等の名称	配当単位数						
教養科目	外国語		演習	2以上	English Language Program 1	1	外国語に関する授業科目から2単位以上選択し、修得すること。				
					English Language Program 2	1					
					English Language Program 4	1					
	体育		講義 実技	1	スポーツの科学	1	「スポーツの科学」及び「スポーツI」は、必ず修得すること。				
					スポーツI	1					
	外国語・体育以外の科目			6以上	心理学入門	2	左記の授業科目から6単位以上選択し、修得すること。				
					日本国憲法	2					
					現代社会と法律	2					
					産業と社会	2					
					子どもと家族	2					
コンピュータ演習I					1						
コンピュータ演習II	1										
必修科目	保育の本質・目的に関する科目		講義	2	保育原理I	2	左記の授業科目を必ず履修し、修得すること。				
					教育原理	2					
					児童家庭福祉	2					
					社会福祉	2					
					相談援助	1					
					社会的養護	2					
	保育者論	2									
	保育の対象の理解に関する科目			講義 演習	2 1	教育心理学		2			
						子どもの心理学I		1			
						子どもの保健I		4	2	4	
						子どもの保健II		1	1		
						子どもの食と栄養		2	1	2	
						子どもの食と栄養II		1	1		
	保育の内容・方法に関する科目			講義 演習	2 1	子ども家庭支援論		2			
						保育課程論		2			
						保育内容総論		1			
						保育内容演習		演習	5	保育内容I(健康)	1
										保育内容I(人間関係)	1
										保育内容I(環境)	1
										保育内容I(言葉)	1
										保育内容I(造形表現)	1
										保育内容I(音楽表現B)	1
						保育内容I(身体表現)		1			
						乳児保育		2	1	2	
						乳児保育II		1	1		
						障害児保育		演習	2	障害児の発達と教育	1
										障害児指導法	1
						社会的養護内容		1	1		
保育相談支援						1	1				
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	体育I(表現運動)	1						
				図画工作I	1						
				音楽I(ピアノ①)	1						
				音楽I(声楽)	1						
保育実習	保育実習I	実習	4	保育実習IA	2						
				保育実習IB	2						
保育実習指導I	演習	2	保育実習指導IA	1							
			保育実習指導IB	1							
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習	2						
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目			15以上	児童福祉論II	2	左記の授業科目から6単位以上履修し、修得すること。				
					社会福祉施設経営論	2					
					保育原理II	2					
	保育の対象の理解に関する科目				臨床心理学	2					
					保育内容II(総合表現)	2					
					体育II(運動遊び)	1					
	保育の表現技術				図画工作II	1					
					音楽II(ピアノ②)	1					
					音楽II(ピアノ③)	1					
					保育内容I(音楽表現A)	1					
					保育内容II(音楽表現)	1					
					保育内容指導法	1					
					保育実習II	2					
					保育実習指導II	1					
保育実習	保育実習II	実習	2	保育実習II	2						
				保育実習III	2						
				保育実習指導III	1						

(注) 1. 他大学における授業科目の履修等については、学則第36条第3項、第37条第2項及び第38条第2項中の「60単位」は、「30単位」と読み替えてこの表を適用する。 2. 子ども学専攻以外の学生は、原則として子ども学専攻の専門科目の演習・実習の授業科目を履修できない。



図2 社会福祉学専攻 教育課程の編成と授業科目の関係  
 (保健福祉学科社会福祉士受験資格履修及び介護福祉士受験資格履修の場合)

カテゴリー	共通教育科目(必修科目)					学部教育科目															専門共通科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	修学基礎	人文・社会科学	自然科学	健康科学	語学国際	専門共通科目・生活支援領域科目・自立支援領域科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						社会連携	現代社会と福祉	社会調査の基礎	相談援助の基盤と専門職	相談援助の理論と方法	地域福祉の理論と方法	福祉行政と福祉計画	福祉サービスの組織と経営	高齢者に対する支援と介護保険制度	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	低所得者に対する支援と生活保護制度	保健医療サービス	就労支援サービス	権利擁護と成年後見制度		更生保護制度	相談援助実習指導	相談援助実習	国際福祉領域科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1年前期	大学で学ぶ	フレッシユマンセミナー	自然科学入門	人文・社会科学入門	ELP1	おかやまボランティア論	ELP2	ELP3	ELP4	ELP5	ELP6	ELP7	ELP8	ELP9	ELP10	ELP11	ELP12	ELP13	ELP14	ELP15	ELP16	ELP17	ELP18	ELP19	ELP20	ELP21	ELP22	ELP23	ELP24	ELP25	ELP26	ELP27	ELP28	ELP29	ELP30	ELP31	ELP32	ELP33	ELP34	ELP35	ELP36	ELP37	ELP38	ELP39	ELP40	ELP41	ELP42	ELP43	ELP44	ELP45	ELP46	ELP47	ELP48	ELP49	ELP50	ELP51	ELP52	ELP53	ELP54	ELP55	ELP56	ELP57	ELP58	ELP59	ELP60	ELP61	ELP62	ELP63	ELP64	ELP65	ELP66	ELP67	ELP68	ELP69	ELP70	ELP71	ELP72	ELP73	ELP74	ELP75	ELP76	ELP77	ELP78	ELP79	ELP80	ELP81	ELP82	ELP83	ELP84	ELP85	ELP86	ELP87	ELP88	ELP89	ELP90	ELP91	ELP92	ELP93	ELP94	ELP95	ELP96	ELP97	ELP98	ELP99	ELP100	ELP101	ELP102	ELP103	ELP104	ELP105	ELP106	ELP107	ELP108	ELP109	ELP110	ELP111	ELP112	ELP113	ELP114	ELP115	ELP116	ELP117	ELP118	ELP119	ELP120	ELP121	ELP122	ELP123	ELP124	ELP125	ELP126	ELP127	ELP128	ELP129	ELP130	ELP131	ELP132	ELP133	ELP134	ELP135	ELP136	ELP137	ELP138	ELP139	ELP140	ELP141	ELP142	ELP143	ELP144	ELP145	ELP146	ELP147	ELP148	ELP149	ELP150	ELP151	ELP152	ELP153	ELP154	ELP155	ELP156	ELP157	ELP158	ELP159	ELP160	ELP161	ELP162	ELP163	ELP164	ELP165	ELP166	ELP167	ELP168	ELP169	ELP170	ELP171	ELP172	ELP173	ELP174	ELP175	ELP176	ELP177	ELP178	ELP179	ELP180	ELP181	ELP182	ELP183	ELP184	ELP185	ELP186	ELP187	ELP188	ELP189	ELP190	ELP191	ELP192	ELP193	ELP194	ELP195	ELP196	ELP197	ELP198	ELP199	ELP200	ELP201	ELP202	ELP203	ELP204	ELP205	ELP206	ELP207	ELP208	ELP209	ELP210	ELP211	ELP212	ELP213	ELP214	ELP215	ELP216	ELP217	ELP218	ELP219	ELP220	ELP221	ELP222	ELP223	ELP224	ELP225	ELP226	ELP227	ELP228	ELP229	ELP230	ELP231	ELP232	ELP233	ELP234	ELP235	ELP236	ELP237	ELP238	ELP239	ELP240	ELP241	ELP242	ELP243	ELP244	ELP245	ELP246	ELP247	ELP248	ELP249	ELP250	ELP251	ELP252	ELP253	ELP254	ELP255	ELP256	ELP257	ELP258	ELP259	ELP260	ELP261	ELP262	ELP263	ELP264	ELP265	ELP266	ELP267	ELP268	ELP269	ELP270	ELP271	ELP272	ELP273	ELP274	ELP275	ELP276	ELP277	ELP278	ELP279	ELP280	ELP281	ELP282	ELP283	ELP284	ELP285	ELP286	ELP287	ELP288	ELP289	ELP290	ELP291	ELP292	ELP293	ELP294	ELP295	ELP296	ELP297	ELP298	ELP299	ELP300	ELP301	ELP302	ELP303	ELP304	ELP305	ELP306	ELP307	ELP308	ELP309	ELP310	ELP311	ELP312	ELP313	ELP314	ELP315	ELP316	ELP317	ELP318	ELP319	ELP320	ELP321	ELP322	ELP323	ELP324	ELP325	ELP326	ELP327	ELP328	ELP329	ELP330	ELP331	ELP332	ELP333	ELP334	ELP335	ELP336	ELP337	ELP338	ELP339	ELP340	ELP341	ELP342	ELP343	ELP344	ELP345	ELP346	ELP347	ELP348	ELP349	ELP350	ELP351	ELP352	ELP353	ELP354	ELP355	ELP356	ELP357	ELP358	ELP359	ELP360	ELP361	ELP362	ELP363	ELP364	ELP365	ELP366	ELP367	ELP368	ELP369	ELP370	ELP371	ELP372	ELP373	ELP374	ELP375	ELP376	ELP377	ELP378	ELP379	ELP380	ELP381	ELP382	ELP383	ELP384	ELP385	ELP386	ELP387	ELP388	ELP389	ELP390	ELP391	ELP392	ELP393	ELP394	ELP395	ELP396	ELP397	ELP398	ELP399	ELP400	ELP401	ELP402	ELP403	ELP404	ELP405	ELP406	ELP407	ELP408	ELP409	ELP410	ELP411	ELP412	ELP413	ELP414	ELP415	ELP416	ELP417	ELP418	ELP419	ELP420	ELP421	ELP422	ELP423	ELP424	ELP425	ELP426	ELP427	ELP428	ELP429	ELP430	ELP431	ELP432	ELP433	ELP434	ELP435	ELP436	ELP437	ELP438	ELP439	ELP440	ELP441	ELP442	ELP443	ELP444	ELP445	ELP446	ELP447	ELP448	ELP449	ELP450	ELP451	ELP452	ELP453	ELP454	ELP455	ELP456	ELP457	ELP458	ELP459	ELP460	ELP461	ELP462	ELP463	ELP464	ELP465	ELP466	ELP467	ELP468	ELP469	ELP470	ELP471	ELP472	ELP473	ELP474	ELP475	ELP476	ELP477	ELP478	ELP479	ELP480	ELP481	ELP482	ELP483	ELP484	ELP485	ELP486	ELP487	ELP488	ELP489	ELP490	ELP491	ELP492	ELP493	ELP494	ELP495	ELP496	ELP497	ELP498	ELP499	ELP500	ELP501	ELP502	ELP503	ELP504	ELP505	ELP506	ELP507	ELP508	ELP509	ELP510	ELP511	ELP512	ELP513	ELP514	ELP515	ELP516	ELP517	ELP518	ELP519	ELP520	ELP521	ELP522	ELP523	ELP524	ELP525	ELP526	ELP527	ELP528	ELP529	ELP530	ELP531	ELP532	ELP533	ELP534	ELP535	ELP536	ELP537	ELP538	ELP539	ELP540	ELP541	ELP542	ELP543	ELP544	ELP545	ELP546	ELP547	ELP548	ELP549	ELP550	ELP551	ELP552	ELP553	ELP554	ELP555	ELP556	ELP557	ELP558	ELP559	ELP560	ELP561	ELP562	ELP563	ELP564	ELP565	ELP566	ELP567	ELP568	ELP569	ELP570	ELP571	ELP572	ELP573	ELP574	ELP575	ELP576	ELP577	ELP578	ELP579	ELP580	ELP581	ELP582	ELP583	ELP584	ELP585	ELP586	ELP587	ELP588	ELP589	ELP590	ELP591	ELP592	ELP593	ELP594	ELP595	ELP596	ELP597	ELP598	ELP599	ELP600	ELP601	ELP602	ELP603	ELP604	ELP605	ELP606	ELP607	ELP608	ELP609	ELP610	ELP611	ELP612	ELP613	ELP614	ELP615	ELP616	ELP617	ELP618	ELP619	ELP620	ELP621	ELP622	ELP623	ELP624	ELP625	ELP626	ELP627	ELP628	ELP629	ELP630	ELP631	ELP632	ELP633	ELP634	ELP635	ELP636	ELP637	ELP638	ELP639	ELP640	ELP641	ELP642	ELP643	ELP644	ELP645	ELP646	ELP647	ELP648	ELP649	ELP650	ELP651	ELP652	ELP653	ELP654	ELP655	ELP656	ELP657	ELP658	ELP659	ELP660	ELP661	ELP662	ELP663	ELP664	ELP665	ELP666	ELP667	ELP668	ELP669	ELP670	ELP671	ELP672	ELP673	ELP674	ELP675	ELP676	ELP677	ELP678	ELP679	ELP680	ELP681	ELP682	ELP683	ELP684	ELP685	ELP686	ELP687	ELP688	ELP689	ELP690	ELP691	ELP692	ELP693	ELP694	ELP695	ELP696	ELP697	ELP698	ELP699	ELP700	ELP701	ELP702	ELP703	ELP704	ELP705	ELP706	ELP707	ELP708	ELP709	ELP710	ELP711	ELP712	ELP713	ELP714	ELP715	ELP716	ELP717	ELP718	ELP719	ELP720	ELP721	ELP722	ELP723	ELP724	ELP725	ELP726	ELP727	ELP728	ELP729	ELP730	ELP731	ELP732	ELP733	ELP734	ELP735	ELP736	ELP737	ELP738	ELP739	ELP740	ELP741	ELP742	ELP743	ELP744	ELP745	ELP746	ELP747	ELP748	ELP749	ELP750	ELP751	ELP752	ELP753	ELP754	ELP755	ELP756	ELP757	ELP758	ELP759	ELP760	ELP761	ELP762	ELP763	ELP764	ELP765	ELP766	ELP767	ELP768	ELP769	ELP770	ELP771	ELP772	ELP773	ELP774	ELP775	ELP776	ELP777	ELP778	ELP779	ELP780	ELP781	ELP782	ELP783	ELP784	ELP785	ELP786	ELP787	ELP788	ELP789	ELP790	ELP791	ELP792	ELP793	ELP794	ELP795	ELP796	ELP797	ELP798	ELP799	ELP800	ELP801	ELP802	ELP803	ELP804	ELP805	ELP806	ELP807	ELP808	ELP809	ELP810	ELP811	ELP812	ELP813	ELP814	ELP815	ELP816	ELP817	ELP818	ELP819	ELP820	ELP821	ELP822	ELP823	ELP824	ELP825	ELP826	ELP827	ELP828	ELP829	ELP830	ELP831	ELP832	ELP833	ELP834	ELP835	ELP836	ELP837	ELP838	ELP839	ELP840	ELP841	ELP842	ELP843	ELP844	ELP845	ELP846	ELP847	ELP848	ELP849	ELP850	ELP851	ELP852	ELP853	ELP854	ELP855	ELP856	ELP857	ELP858	ELP859	ELP860	ELP861	ELP862	ELP863	ELP864	ELP865	ELP866	ELP867	ELP868	ELP869	ELP870	ELP871	ELP872	ELP873	ELP874	ELP875	ELP876	ELP877	ELP878	ELP879	ELP880	ELP881	ELP882	ELP883	ELP884	ELP885	ELP886	ELP887	ELP888	ELP889	ELP890	ELP891	ELP892	ELP893	ELP894	ELP895	ELP896	ELP897	ELP898	ELP899	ELP900	ELP901	ELP902	ELP903	ELP904	ELP905	ELP906	ELP907	ELP908	ELP909	ELP910	ELP911	ELP912	ELP913	ELP914	ELP915	ELP916	ELP917	ELP918	ELP919	ELP920	ELP921	ELP922	ELP923	ELP924	ELP925	ELP926	ELP927	ELP928	ELP929	ELP930	ELP931	ELP932	ELP933	ELP934	ELP935	ELP936	ELP937	ELP938	ELP939	ELP940	ELP941	ELP942	ELP943	ELP944	ELP945	ELP946	ELP947	ELP948	ELP949	ELP950	ELP951	ELP952	ELP953	ELP954	ELP955	ELP956	ELP957	ELP958	ELP959	ELP960	ELP961	ELP962	ELP963	ELP964	ELP965	ELP966	ELP967	ELP968	ELP969	ELP970	ELP971	ELP972	ELP973	ELP974	ELP975	ELP976	ELP977	ELP978	ELP979	ELP980	ELP981	ELP982	ELP983	ELP984	ELP985	ELP986	ELP987	ELP988	ELP989	ELP990	ELP991	ELP992	ELP993	ELP994	ELP995	ELP996	ELP997	ELP998	ELP999	ELP1000

・太枠網掛の科目は必修科目  
 ・太枠の科目は社会福祉士受験資格科目または介護福祉士受験資格科目  
 ・細枠の科目は選択科目

学部教育科目								
自立支援領域科目								
カテゴリー	介護							
	人間と社会							
	介護の基本	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	介護実習	こころとからだのしくみ	医療的ケア
1年前期								
1年後期	介護原論		生活支援技術Ⅰ		介護過程総論			医療的ケアⅠ 医療的ケアⅡ
2年前期			福祉用具の活用技術と理論	生活支援技術Ⅱ	生活支援技術Ⅲ	生活支援技術Ⅳ	生活支援技術Ⅴ	介護福祉実習Ⅰ 介護総合演習(導入)
2年後期	生活とエルゴノミクス	コミュニケーション技術論Ⅰ	家政学演習	生活支援技術Ⅵ		介護過程Ⅰ(基礎)	介護過程Ⅱ(応用)	介護福祉実習Ⅱ 介護総合演習Ⅰ
3年前期	生活維持・活性論	介護福祉実験演習	コミュニケーション技術論Ⅱ	住環境科学演習				介護総合演習Ⅱ 介護福祉実習Ⅲ
3年後期					介護過程Ⅲ(実践)			医療的ケア演習Ⅱ 医療的ケア演習Ⅰ 医療的ケアⅢ
4年前期	介護管理	介護福祉経営論				介護総合演習Ⅲ		
4年後期								



### 3. 7 社会福祉学専攻 授業科目

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
			1	2	3	4			
専門 共通 科目	保健福祉学Ⅰ	講義	中村(光) 他	◎				30	2
	保健福祉学Ⅱ	講義	学科長 他				◎	30	2
	社会福祉原論	講義	井村	◎				30	2
	地域福祉論	講義	井村		○			30	2
	社会保障論Ⅰ	講義	増田		○			30	2
	高齢者福祉論Ⅰ	講義	山本(浩)	○				30	2
	障害者福祉論Ⅰ	講義	坂野	○				30	2
	児童福祉論Ⅰ	講義	周防	○				30	2
	児童福祉論Ⅱ	講義	周防		○			30	2
	社会福祉施設経営論	講義	井上			○		30	2
	ソーシャルワーク論	講義	村社		◎			30	2
	人体の構造と機能Ⅰ	講義	藤井	◎				30	2
	身体機能と障害	講義	中村(光)・中村(孝)		○			30	2
	知的発達と障害	講義	中村(光)		○			30	2
	教育基礎論	講義	佐藤(和)	○				30	2
	臨床心理学	講義	樂木			○		30	2
	次世代育成論	講義	近藤・桐野		○			30	2
	入門ゼミナール〔隔週〕	演習	学科教員	◎				30	1
	基礎ゼミナール〔隔週〕	演習			◎			30	1
	専門ゼミナール〔隔週〕	演習				◎		30	1
研究ゼミナール	演習					◎	120	4	
専門 科目 領域 科目	産業と社会	講義	近藤	◎				30	2
	発達心理学	講義	樂木		○			30	2
	カウンセリング演習	演習	樂木				○	30	1
	公衆衛生	講義	藤井		○			30	2
	社会病理学	講義	近藤		○			30	2
	社会福祉発達史	講義	井村	○				30	2
	社会福祉思想	講義	村社	○				30	2
	社会保障論Ⅱ	講義	増田		○			30	2
	高齢者福祉論Ⅱ	講義	山本(浩)		○			30	2
	障害者福祉論Ⅱ	講義	坂野		○			30	2
	社会福祉政策論	講義	増田			○		30	2
	社会福祉調査論	講義	近藤 他			○		30	2
	福祉専門職論	講義	竹本		○			30	2
	ソーシャルワークⅠ	講義	竹本		○			30	2
	ソーシャルワークⅡ	講義	村社			○		30	2
	ソーシャルワークⅢ	講義	山本(浩)			○		30	2
	社会福祉調査演習	演習	近藤 他			○		30	1
	地域組織論	講義	井村		○			30	2
	社会福祉行財政論	講義	井村			○		30	2
	福祉計画論	講義	井村			○		30	2
	精神障害者福祉論	講義	坂野		○			30	2
	エルゴノミクスの基礎	講義	中村(孝)	○				30	2
	ユニバーサルデザインの理論と実践	講義	中村(孝)			○		30	2
	生活支援と福祉工学	講義	中村(孝)		○			30	2
	保健福祉実験演習	演習	中村(孝) 他			○		30	1
	家族福祉論	講義	周防			○		30	2
	公的扶助論	講義	増田			○		30	2
	保健医療制度	講義	坂野			○		30	2
	就労支援制度	講義	村社			○		30	2
	権利擁護・成年後見制度	講義	桐野			○		30	2
	司法福祉論	講義	※藤原			○		15	1
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	竹本 他		○			60	2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	村社 他			○		60	2
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習	村社 他				○	30	1
	チームガバナビリティ演習	演習	中村(光) 他			○		30	1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	実習	竹本 他		○			45	1
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	実習	竹本 他			○		45	1	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	実習	竹本 他			○		45	1	
ソーシャルワーク実習	実習	竹本 他			○		180	4	

96  
単  
位



	授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
				1	2	3	4				
専 門 科 目	自 立 支 援 領 域 科 目	老年科学	講義	中村(光)・澤田		○			30	2	96 単 位
		老年医学	講義	藤井		○			30	2	
		認知症論	講義	中村(光)		○			30	2	
		認知症ケア論	講義	佐藤(ゆ)			○		30	2	
		障害科学Ⅰ	講義	中村(光)	○				30	2	
		障害科学Ⅱ	講義	中村(孝)		○			30	2	
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	藤井	○				30	2	
		精神保健	講義	坂野			○		30	2	
		介護原論	講義	谷口	○				30	2	
		介護福祉実験演習	演習	中村(孝) 他			○		30	1	
		生活とエルゴノミクス	講義	中村(孝)		○			30	2	
		介護管理	講義	谷口・藤井				○	15	1	
		介護福祉経営論	講義	※高橋(和)				○	15	1	
		生活維持・活性論	講義	犬飼			○		30	2	
		コミュニケーション技術論Ⅰ	演習	谷口 他		○			30	1	
		コミュニケーション技術論Ⅱ	演習	谷口 他			○		30	1	
		生活支援技術Ⅰ	演習	趙 他	○				30	1	
		生活支援技術Ⅱ	演習	趙 他		○			30	1	
		生活支援技術Ⅲ	演習	原野 他		○			30	1	
		生活支援技術Ⅳ	演習	松田 他		○			30	1	
		生活支援技術Ⅴ	演習	趙 他		○			60	2	
		生活支援技術Ⅵ	演習	原野 他		○			30	1	
		福祉用具の活用技術と理論	演習	佐藤(ゆ)		○			30	1	
		家政学演習	演習	山下・※治部		○			30	1	
		住環境科学演習	演習	中村(孝)・※山本(百)			○		30	1	
		介護過程総論	演習	谷口 他	○				30	1	
		介護過程Ⅰ(基礎)	演習	原野 他		○			30	1	
		介護過程Ⅱ(応用)	演習	原野 他		○			30	1	
		介護過程Ⅲ(実践)	演習	原野 他			○		60	2	
		介護総合演習(導入)	演習	趙 他		○			30	1	
		介護総合演習Ⅰ	演習	趙 他		○			30	1	
		介護総合演習Ⅱ	演習	原野 他			○		30	1	
		介護総合演習Ⅲ	演習	佐藤(ゆ) 他				○	30	1	
	介護福祉実習Ⅰ	実習	趙 他		○			90	2		
	介護福祉実習Ⅱ	実習	原野 他		○			180	4		
	介護福祉実習Ⅲ	実習	佐藤(ゆ) 他			○		180	4		
	医療的ケアⅠ	講義	原野 他	○				20	1		
	医療的ケアⅡ	講義	藤井 他	○				20	1		
	医療的ケアⅢ	講義	原野・藤井 他			○		20	1		
	医療的ケア演習Ⅰ	演習	原野・谷口 他			○		30	1		
医療的ケア演習Ⅱ(実地研修)	演習	原野・谷口 他			○		60	2			
領 域 国 際 科 目	福祉国家論	講義	増田		○			30	2		
	国際福祉論	講義	近藤		○			30	2		
	国際家族政策論	講義	近藤			○		30	2		
	国際福祉演習	演習	増田・近藤			○		30	1		
	多文化介護論	講義	趙	○				30	2		

「○」は必修科目、「○」は選択科目、「※」は非常勤講師  
資格取得に関しては別表を参照のこと。  
学部教育科目の卒業要件単位数 96単位  
卒業要件単位数 124単位(共通教育科目の卒業要件28単位を含む)

### 3. 8 子ども学専攻 授業科目

	授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
				1	2	3	4			
専門 共通 科目	保健福祉学Ⅰ	講義	中村(光) 他	◎				30	2	96 単 位
	保健福祉学Ⅱ	講義	学科長 他				◎	30	2	
	社会福祉原論	講義	井村	◎				30	2	
	地域福祉論	講義	井村		○			30	2	
	社会保障論Ⅰ	講義	増田		○			30	2	
	高齢者福祉論Ⅰ	講義	山本(浩)	○				30	2	
	障害者福祉論Ⅰ	講義	坂野	○				30	2	
	児童福祉論Ⅰ	講義	周防	○				30	2	
	児童福祉論Ⅱ	講義	周防		○			30	2	
	社会福祉施設経営論	講義	井上			○		30	2	
	ソーシャルワーク論	講義	村社		○			30	2	
	人体の構造と機能Ⅰ	講義	藤井	◎				30	2	
	身体機能と障害	講義	中村(光)・中村(孝)		○			30	2	
	知的発達と障害	講義	中村(光)		○			30	2	
	教育基礎論	講義	佐藤(和)	◎				30	2	
	臨床心理学	講義	樂木			○		30	2	
	次世代育成論	講義	近藤・桐野		○			30	2	
	入門ゼミナール〔隔週〕	演習	学科教員	◎				30	1	
基礎ゼミナール〔隔週〕	演習			◎			30	1		
専門ゼミナール〔隔週〕	演習				◎		30	1		
研究ゼミナール	演習					◎	120	4		
専門 科目	国語	講義	樟本		◎			30	2	
	生活	講義	※高橋(多)			◎		30	2	
	音楽Ⅰ(声楽)	演習	吉永	◎				30	1	
	音楽Ⅰ(ピアノ①)	演習	吉永 他		◎			30	1	
	音楽Ⅱ(ピアノ②)	演習	吉永 他		○			30	1	
	音楽Ⅱ(ピアノ③)	演習	吉永 他			○		30	1	
	図画工作Ⅰ	演習	関崎			◎		30	1	
	図画工作Ⅱ	演習	関崎			◎		30	1	
	体育Ⅰ(表現運動)	演習	新山			◎		30	1	
	体育Ⅱ(運動遊び)	演習	新山			◎		30	1	
	教師論	講義	佐藤(和)		◎			30	2	
	教育心理学	講義	樟本	◎				30	2	
	子どもの心理学	演習	樂木・樟本		◎			30	1	
	障害児の発達と教育	演習	京林		◎			30	1	
	カリキュラム論	講義	佐藤(和)			◎		30	2	
	保育内容総論	演習	佐藤(和)	◎				30	1	
	保育内容Ⅰ(健康)	演習	※越川		◎			30	1	
	保育内容Ⅰ(人間関係)	演習	佐藤(和)・京林	◎				30	1	
	保育内容Ⅰ(環境)	演習	※高橋(多)		◎			30	1	
	保育内容Ⅰ(言葉)	演習	樟本		◎			30	1	
	保育内容Ⅰ(造形表現)	演習	関崎		◎			30	1	
	保育内容Ⅰ(音楽表現A)	演習	※安達		◎			30	1	
	保育内容Ⅰ(音楽表現B)	演習	吉永			◎		30	1	
	保育内容Ⅰ(身体表現)	演習	新山		◎			30	1	
	保育内容Ⅱ(音楽表現)	演習	吉永				◎	30	1	
	保育内容Ⅱ(総合表現)	演習	新山・吉永・樟本				◎	45	2	
	保育内容指導法	演習	※入江・※越川			◎		30	1	
	障害児指導法	演習	京林			◎		30	1	
	幼児教育方法論	講義	※西山			◎		30	2	
	幼児理解の理論と方法	講義	樟本・池田・京林		◎			30	2	
	保育・教育相談	演習	中野・※武井			◎		30	1	
	子ども臨床基礎論	講義	中野・樟本	◎				30	2	
	子どもの発達と表現	演習	吉永・坂野・新山		○			30	1	
	子どものメンタルヘルス	講義	坂野			○		30	2	
	子どもの発達と支援	演習	京林				○	30	1	

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数	
			1	2	3	4				
専門科目	子どもの保健ⅠA	講義	藤井		◎			30	2	96 単 位
	子どもの保健ⅠB	講義	坂野・藤井		◎			30	2	
	子どもの保健Ⅱ	演習	沖本 他			○		30	1	
	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	山本(登)			◎		30	1	
	子どもの食と栄養Ⅱ	演習	新田			○		30	1	
	子ども家庭支援論	講義	中野			◎		30	2	
	相談援助演習	演習	中野			◎		30	1	
	保育原理Ⅰ	講義	池田	◎				30	2	
	保育原理Ⅱ	講義	池田			○		30	2	
	乳児保育Ⅰ	演習	柏			◎		30	1	
	乳児保育Ⅱ	演習	柏			○		30	1	
	社会的養護原理	講義	中野		◎			30	2	
	社会的養護内容	演習	中野・周防		◎			30	1	
	保育・教職実践演習	演習	佐藤(和) 他				◎	60	2	
	教育実習	実習	佐藤(和)・樟本 他			◎		180	4	
	教育実習指導	演習	佐藤(和)・樟本			◎		30	1	
	保育実習ⅠA	実習	中野 他		◎			90	2	
	保育実習指導ⅠA	演習	中野・京林		◎			30	1	
	保育実習ⅠB	実習	池田 他			◎		90	2	
	保育実習指導ⅠB	演習	池田・柏			◎		30	1	
	保育実習Ⅱ	実習	池田 他				○	90	2	
	保育実習指導Ⅱ	演習	池田・柏				○	30	1	
	保育実習Ⅲ	実習	中野 他				○	90	2	
保育実習指導Ⅲ	演習	中野・京林				○	30	1		

「◎」は必修科目、「○」は選択科目、「※」は非常勤講師  
資格取得に関しては「資格取得に必要な授業科目及び単位数」を参照のこと。  
学部教育科目の卒業要件単位数 96単位  
卒業要件単位数 124単位（共通教育科目の卒業要件28単位を含む）